

平成28年度

教育委員会事務事業点検・評価報告書

(平成27年度分)

寒河江市教育委員会

目 次

I	寒河江市教育委員会事務事業の点検・評価について	1
1.	制度の概要及び目的	1
2.	点検・評価の対象事業	1
3.	点検・評価の方法	1
4.	学識経験者の知見の活用	1
II	教育委員会の活動状況	2
1.	教育委員会の開催	2
2.	教育委員会協議会の開催	3
3.	教育委員会会議以外の活動	4
III	施策の体系	5
IV	外部評価委員の意見	7
1.	総括	7
2.	施策ごとの意見	7
V	点検・評価対象事業一覧	14
	【点検・評価の結果（事務事業点検・評価調書）】	16

I 寒河江市教育委員会事務事業の点検・評価について

1. 制度の概要及び目的

平成19年6月に、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」が一部改正（平成20年4月1日施行）され、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行状況について自ら点検・評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表しなければならないこととなりました。

また、この点検・評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとされています。

この法律改正を受け、寒河江市教育委員会では、効果的な教育行政の推進に資するとともに市民に対する説明責任を果たすため、平成21年度から、前年度に行った事務事業について3名の外部評価委員の方々の意見をいただきながら点検・評価を実施しております。

今年度は、平成27年度に行った事務事業について点検・評価を実施し、その結果を報告書としてまとめました。

2. 点検・評価の対象事業

点検・評価は、平成27年度に実施した教育委員会所管の69事業のうち、事業規模及び市民への周知の必要性等を考慮して選定した主要な41事業を対象に実施しています。

また、平成23年度からスタートした新第5次寒河江市振興計画において、今後5年間重点的に取り組む施策として7つの「重点プロジェクト」が設定されておりますが、その中の『「さがえっこ」すくすくプロジェクト』において、教育委員会が所管する事業『「さがえっこ育みアクションプラン」の推進』についても昨年に引き続き取り上げることにしました。

3. 点検・評価の方法

点検・評価の対象とした41事業については、「必要性」、「効率性」及び「有効性」等の観点から総合評価したうえで、今後の方向性として、「拡充」、「継続」、「縮小」、「見直し」及び「休廃止」に区分して明らかにしました。そしてその内容は、事業ごとに「事務事業点検・評価調書」としてまとめております。

また、重点プロジェクトの事業については、関係する個別事業の評価を踏まえて、プロジェクトの着実な推進の観点から一定の評価を加えております。

4. 学識経験者の知見の活用

教育委員会が行った点検・評価についてその客観性を確保するため、3名の学識経験者を外部評価委員（寒河江市教育事務評価委員）として委嘱し、点検・評価の内容について意見をいただきました。

寒河江市教育事務評価委員

氏 名	役 職 名 等
真 木 吉 雄	前山形大学大学院教育実践研究科 教授
大 泉 静 夫	有識者
武 田 静 子	有識者

II 教育委員会の活動状況

1. 教育委員会の開催

開 催 日	区分	議案 番号	件 名
4月10日	臨時	21	平成27年度教育行政の一般方針について
4月21日	定例	22	教職員の懲戒処分の内申について
5月22日	定例	23	平成27年度教育費補正予算案に対する意見の申出について
		24	寒河江市障害児就学指導委員会規則の一部改正について
6月19日	定例	25	寒河江市社会教育委員の委嘱について
		26	寒河江市中央公民館運営審議会委員の委嘱について
		27	寒河江市図書館協議会委員の任命について
		28	寒河江市教育振興計画検討委員会委員の委嘱について
		29	寒河江市教育事務評価委員の委嘱について
7月21日	定例	30	平成28年度使用教科用図書の採択について
		31	寒河江市スポーツ推進審議会委員の任命について
8月21日	定例	32	教育委員会の事務事業(平成26年度分)の点検・評価について
		33	平成27年教育費補正予算案に対する意見の申出について
9月25日	定例	34	寒河江市指定有形文化財の指定について
11月20日	定例	35	平成27年教育費補正予算案に対する意見の申出について
12月22日	定例	36	寒河江市立学校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の公務災害補償に関する条例施行規則の一部改正について
		37	教職員の懲戒処分の内申について

2月17日	定例	1	寒河江市いじめ防止対策の推進に関する条例の制定に対する意見の申出について
		2	平成27年度教育費補正予算案に対する意見の申出について
		3	平成28年度教育費予算案に対する意見の申出について
3月8日	臨時	4	平成28年度寒河江市立小中学校教職員人事異動内申について
		5	第2次寒河江市教育振興計画について
		6	寒河江市スポーツ推進計画について
3月24日	定例	7	公民館長の任命について
		8	寒河江市立図書館長の任命について
		9	寒河江市立小中学校管理規則の一部改正について
		10	寒河江市立小中学校通学区域に関する規則の全部改正について
		11	寒河江市立図書館利用規程の一部改正について
		12	平成28年度教育行政の一般方針について
		13	平成28年度寒河江市教育委員会所属職員の人事異動について

2. 教育委員会協議会の開催

開催回数 4月21日 ほかに10回

協議案件

- ・ 第2次寒河江市教育振興計画の進捗について
- ・ NRT学力テスト結果と本市の状況について
- ・ 教育委員会事務事業点検・評価（平成26年度分）の内容について
- ・ 寒河江市スポーツ推進計画の進捗について
- ・ 全国学力・学習状況調査の本市の状況について
- ・ 第6次寒河江市振興計画の進捗について
- ・ 総合教育会議について
- ・ 寒河江市いじめ防止対策の推進に関する条例について
- ・ 平成28年度教育行政の一般方針について

など 計 11件

3. 教育委員会会議以外の活動

(1) 学校訪問

実施日	実施校	実施日	実施校
5月28日	幸生小学校	10月7日	高松小学校
6月23日	寒河江小学校	11月12日	白岩小学校
7月8日	陵南中学校	11月26日	西根小学校

(2) 総合教育会議

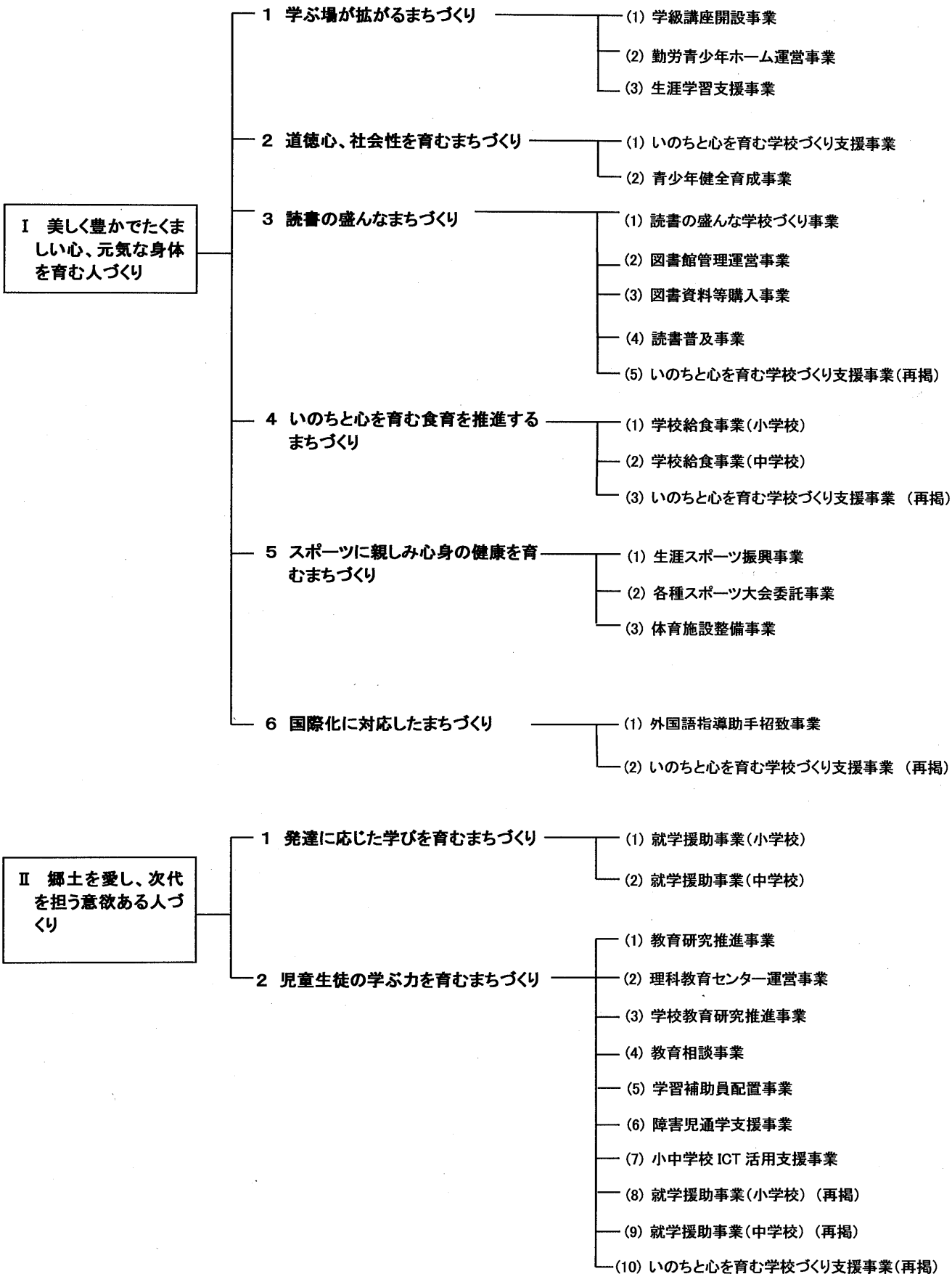
実施日	内 容
5月13日	(1) 寒河江市総合教育会議設置要綱の制定について (2) 本市の「大綱」について (3) 教育振興計画策定計画について
11月11日	(1) 本市の教育について (2) 第2次寒河江市教育振興計画（案）について (3) これからの教育施策について
3月22日	(1) 教育等の振興に関する大綱について (2) 平成28年度教育行政の一般方針について

(3) その他調査・研修活動

実施日	内 容
4月24日	教育委員と学校長の教育懇談会
5月14日	小学校陸上競技大会
5月29日	山形県市町村教育委員会協議会定期総会・研修会（山形市）
7月3日	西村山市町教育委員会連絡協議会総会及び教育委員研修会
7月9日	小学校水泳競技大会
8月7日	山形県市町村教育委員会大会（鶴岡市）
9月18日	小中学校交歓音楽会
11月11日	市長と教育委員の懇談会
11月13日	公開授業研究（陵東中学校）

III 施策の体系

寒河江市教育振興計画



Ⅲ 歴史と文化を活かし、新たな文化を育む人づくり

- 1 歴史と伝統文化を活かしたまちづくり
 - (1) 市史編纂事業
 - (2) 文化財保護庶務事業
 - (3) 埋蔵文化財調査事業
 - (4) 郷土館保存事業
 - (5) 歴史文化ふるさと回帰事業
 - (6) 史跡慈恩寺旧境内総合調査事業
 - (7) いのちと心を育む学校づくり支援事業（再掲）
- 2 芸術文化に親しみ、創造の喜びを育むまちづくり
 - (1) 芸術文化振興事業
 - (2) 美術館運営事業

Ⅳ 地域主体の活動による心豊かな人づくり

- 1 生涯をとおした学習活動が盛んなまちづくり
 - (1) 社会教育活動事業
 - (2) 公民館活動事業
 - (3) 放課後子ども教室推進事業
 - (4) 公民館整備事業
 - (5) 寒河江さくらんぼ大学推進事業
- 2 家庭の教育力を高めるまちづくり
 - (1) いのちと心を育む学校づくり支援事業（再掲）
 - (2) 社会教育活動事業（再掲）
- 3 地域に開かれた学校、学びを高め合うまちづくり
 - (1) さがえっこ育みアクションプラン推進事業
 - (2) いのちと心を育む学校づくり支援事業（再掲）

Ⅴ 開かれた教育行政の推進

- 1 教育行政に対する関心、意識の高揚
 - (1) 教育委員会事務局管理事業
- 2 教育環境の充実・整備
 - (1) 小学校管理事業
 - (2) 中学校管理事業
 - (3) 学校保健事業(小学校)
 - (4) 学校保健事業(中学校)
 - (5) 教育振興事業(小学校)
 - (6) 教育振興事業(中学校)
 - (7) 情報教育推進事業(小学校)
 - (8) 情報教育推進事業(中学校)
 - (9) スクールバス運行事業

IV 外部評価委員の意見

1 総括

- 「事業の実施状況」については、簡潔で具体的に記載されており、部外者にとっても状況を把握しやすい表記になっています。成果が見られた事業については、例えば前年比を記すなどすれば、より実績が見えてくるものと思われます。
- 「事業の評価」については、大半の事業において事業目的に対比した評価が成されています。実施結果に伴う成果もしくは課題とそれらの要因分析等についても可能な範囲で示されるとより望ましい評価になるでしょう。
- 「今後の方向性」のうち本年度予算が記された事業については、方向性が実体を伴って把握することができるようになってきています。「拡充」等の場合、予算の増減を伴うものと内容面での変更との二つがありますが、前者に該当する事業については、いずれも本年度の予算額が記載されており、事業の推移を系統的に概観できるようになっています。
- 今年度の点検・評価の対象事業が少なくなりましたが、対象外となった事業についても内部での点検・評価を今までと同様に大切にしてほしいです。調書は点検・評価がしやすいように具体的な数値なども入れて整理されてよかったです。

2. 施策ごとの意見

(1) 生涯学習の推進・充実

【学級講座開設事業】

- 地域と密接に関わる公民館における老若男女の様々な活動は、地域を生き生きにします。これからはいろいろと工夫された活動を期待します。
- 若い母親にとって、近くに住む同年代の母親と気軽に話し合える場、心を開くことができる「集い合う場」が大切です。前年度は一地域減ったのは残念でしたが、女性教育講座にこれからは内容を工夫されて継続してほしいです。
- 各地区公民館で各世代を対象に講座が開設されています。学びを通して、仲間をつくり、地域の暮らしや文化を豊かに育んでいます。
- 若い世代から高齢者まで参加していただくために、講座の情報をどのように発信していくかが課題です。各地区公民館での様々な工夫を共有してより効果的な方法を検討していただきたい。
- 講師には地域で活躍されている方を発掘し、講師に迎えるという取組を継続していただきたい。

【芸術文化振興事業】

- 文化的に質の高い事業故に、寒河江市民以外からの注目を集めることが少なくありません。それだけに、券売に関する事前広告のあり方によっては市民が入手できない状況になることも考えられますが、PRをおさえるのではなく、市外からの申込に制限を加えるなど購買方法を検討することも必要と思われます。

- 自主事業では多くの市民が芸術に触れる機会を与えていただき楽しませていただいています。
- 自分の住んでいるところの文化芸術が豊かになれば、普段の生活にうるおいが出てきます。

【美術館運営事業】

- 特別企画展が1回の開催になったことについては、集客の面からしても残念です。出展者の負担が多いということですが、補助割合のみならず人的援助などの面からもバックアップするなど、支援のあり方を多面的に検討してみることが大切と思います。
- 子どもを対象にした事業に多くの来場者があったことは、子ども芸術展など子どもを中心にした多くの家族が『一番身近な芸術』に触れ、同じ作品をもとに心を交わす貴重な時間になったと思います。これからも大切にしてほしいです。
- 人間にはわからないことがわかる体験をすることで満足感を感じます。鑑賞者に理解、納得していただくストーリーなどを盛り込んだ上で、引き続き担当専門員によるギャラリートークを行い、作品ごとにその時の作家の状況や心情を踏まえ、裏話なども交えながら分かりやすく解説していただく作品への理解も深まるように思います。
- 展示作品を解説する美術館ボランティアを養成してはいかがでしょうか。
- 展示する作品をどこから調達するかも課題です。社会貢献活動に理解ある企業等にご賛同いただき、『企業等の所蔵する名品アートコレクション展』の開催を検討してはいかがでしょうか。

【公民館活動事業】

- 地区公民館が「情報センター」として機能するための手法を検討する必要があると考えます。分館長、分館主事は多くの場合、町内会役員の一役職で2年位の短期間の任期です。そのために、公民館活動をさらに活発にするためには、初めての仕事で慣れない人が多い各分館長、分館主事への運営のアドバイス、企画などの情報提供、研修発表などの支援をこれからも地区公民館が積極的に行ってほしいと思います。
- 各地域の特徴を生かした公民館（分館）活動が行われています。住民同士が気軽に集まり情報交換できる場になっています。
- 各地区公民館設置の掲示板は“各公民館からのお知らせ”と“イベントなどのお知らせ”というようにカテゴリーを分けて掲示すれば、整理しやすく、見やすく、読みやすくなります。
- パンフレット（チラシ）配架についても、カテゴリーごとに整理すると手に取りやすくなります。

【放課後子ども教室推進事業】

- 放課後子ども教室と放課後児童クラブとの連携が具体的な形で実現するようになれば、他の自治体からも注目を集めることになると思います。ぜひ寒河江市オリジナルの放課後子どもプランを編み出していきたいものです。
- 各教室10名くらいの放課後子ども教室経験者が中学生になってからボランティアスタッフとして参加するという流れがあることが素晴らしいことです。それは放課後子ども教室が自然体験の先輩である地域社会の大人たちとの交流や他校や学年を超えた異年齢の子ども達との心を豊かに育む貴重な体験活動を行っているからだと思います。これからも、中学生スタッフの安全面などを配慮していただきながら運営をよろしくをお願いします。

【公民館整備事業】

- 地震の危険性が問題になっている今、地域自主防災の拠点にもなる公民館の耐震化などの整備事業の促進には特に力を入れてほしいです。

【寒河江さくらんぼ大学推進事業】

- 「大学院」設置案は、他に例を見ないオリジナリティの高いものです。設置に向けていろいろな課題があるでしょうが、ぜひクリアして実現していただきたいと思います。
- 受講生による運営委員会が活発に活動されていることはとてもいいことです。主体的に生き生きと学び、同じ学びを通して受講生同士が積極的に関わり合うことは大切なことだと思います。
- できるだけ郷土との関わりが深い、寒河江市民にとっても親しみのある「大学院」の設置に期待しています。
- 地域のために役に立ちたいという高い意欲を持った運営委員が活発に活動しています。継続して、地域の様々な人脈や紹介ルートを駆使して、市民の学習や活動へのニーズに応えていただきたい。

(2) 読書活動の推進・充実

【読書の盛んな学校づくり事業】

- 読書活動推進員が授業に関わることについては、他市町村の取り組みには類例のない事業です。寒河江中部小が文科大臣賞表彰を受けるという大きな成果をあげており、今後の取り組みが期待されます。今後に生かすためにも授業実践記録をとるなど、より一層の工夫を望みます。
- 教育研究所の研修部会で講師を務めたり、これまで以上に教員の国語の授業支援を行ったことはよいことであり、これからも継続して欲しいです。
- 児童生徒の読書活動の支援を担っている推進員は各校の先生方、また、推進員同士の協力・連携を大切にしてください。
- 推進員の能力と行動力を存分に発揮していただくためには推進員を活用する学校側の意識が重要であると思います。

【図書資料等購入事業】

- 本に親しむ子どもを育てるために重要な乳幼児期のブックスタート絵本の購入をこれからも充実させてほしいと思います。その乳幼児と母親のための企画を3か月児検診に合わせて行っていることはとてもいいことで、いろんな機会を生かした活動をこれからも期待しています。

【読書普及事業】

- 読書普及に向けた多様な取り組みが、幅の広い年齢層に浸透し、図書館利用につながっていることについて敬意を表します。こうした活動を今後も継続発展させることはもとより、従来のイメージだけにとらわれないアイデアを出し合うなど新たな図書館運営に努めることも大切です。
- 読書の盛んなまちづくりを推進する寒河江市は特に乳幼児や学童に対する事業が定着し、本やそこでのイベントを通じた世代を超えた交流場所の拠点となっています。
- 自主事業は継続的に実施されているものもあれば、平成27年度から図書館まつりを夏と冬の2回実施し、「ブックカフェ」を取り入れるなど内容的にも工夫が見られ参加者の増加につながっています。本との出会いの場を増やすことができる図書館まつりは大いにアピールしてよい

と思います。

- 幼児から高齢者に至る幅広い年代の人々の滞在性を高めるために机やいすの配置などを工夫し、利用しやすい環境整備が求められているように思います。
- 図書館のしくみを知り、関連する知識や技能を習得して図書館の運営を支援できるブックサポーター（ボランティア）を養成する講座を開催してはいかがでしょうか。

(3) 生涯スポーツの推進・充実

【生涯スポーツ振興事業】

- 人口の四分の一が高齢者となっている現在、高齢者を対象とした生涯スポーツの振興・推進事業は重要なものとなっています。今後一層の推進が図られるよう取り組んで行かれることを望みます。
- グリバーさがえを利用したカヌー競技の普及拡大には、多くの人々が「やってみたい」と思うようなPR、『まず、ふれてみる』ような機会を多くするような新しい企画が必要だと思います。他市にはあまりないような多目的水面広場なので、特に期待しています。
- 多目的水面広場があるために水上スポーツが定着しています。寒河江高校と谷地高校がカヌー競技で優秀な成績を収めています。このような盛り上がりの中でレクリエーションとしてのカヌーを楽しむ文化も花開き、その活気がまちづくりの大きな力になると思います。

(4) 特色ある学校づくりの推進・充実

【さがえっこ育みアクションプラン推進事業】

- 本事業は、子どもたち一人ひとりの「確かな学力」の向上に向けて、学校教育や家庭教育、地域社会における教育の橋渡しとなり、それらを総合的に支援する事業であると捉えることができます。それだけに範囲が広く焦点が絞りきれない面もあるでしょうが、学校支援ボランティア活動の推進や新たな「10箇条」の周知・啓発など、目的達成に向けたより具体的な施策の推進が望まれます。
- 学校支援ボランティアが年々増えていることはとても良いことであり、地域に開かれた学校、みんなで子どもを育てる意識を更に高めていると思います。また、できるだけ早く、小学校にも地域コーディネーターが配置されることを望みます。
- 大切な幼・保・小・中の連携で、それぞれの先生方の研修の場、特に幼・保と小の交流の場を少しでも増やしていくことも必要だと思います。

【いのちと心を育む学校づくり支援事業】

- 学校教育に特化した「さがえっこ育みアクションプラン」として、第6次山形県教育振興計画にも関連した重要な事業と思います。学校の主体性を保障し予算化することは、教職員の実践意欲を引き出すなど、運営面で制限の多い義務教育諸学校においては貴重な事業となっています。「ふるさと学習支援事業」が、これまで以上に学校運営の活性化につながることを期待します。
- 地域の特色を生かした特色ある教育活動は、子ども達の郷土愛につながる大切なものです。特に小規模校ではこれからも力を入れてほしいです。
- 豊かな自然環境をはじめ、地域資源や人材を活用しながら、各学校で地域の自然や歴史、文化

などへの理解を通して、ふるさとを愛する心を育むことは、人づくりを進める上で重要です。

(5) 児童生徒の学ぶ力の育成

【教育研究推進事業】

- 校種の違う先生方全員と一緒に授業参観や研修を通して授業づくりについて話し合うことは児童生徒の学力向上だけでなく、市内の先生方個人の資質向上や同じ市内の子どもを共に指導するという心の交流にもつながっていると思います。

【外国語指導助手招致事業】

- ALTを1名増員したことは、小中学校の学習活動にとってとても良いことです。指導時間数が増えるとしたら、幼稚園や保育園の子ども達と接する時間も取れれば良いと思います。小学校の外国語活動につながるだけでなく幼・保の先生方の研修にもなり、何よりも幼児たちが喜ぶと思います。
- グローバル化が加速する中で将来の職業的、社会的な環境を考えれば、外国人と外国語を用いたコミュニケーションを図り異なる文化を持つ人々との交流は必要です。平成28年度からは3名体制になるとのことで充実した活動になることを期待します。

【教育相談事業】

- 特に、寒陵スクールについては、学級担任はじめ学校との連携を図りながら情報交換を密にしていくことが、不登校生の学校への復帰につながることであります。スクールソーシャルワーカーを積極的に活用するなどして、学校と適応教室、そして家庭との連携をより一層図られることを望みます。
- 家庭の問題に起因する教育相談が増えたことは、これまで以上にいろいろな機関との密接な連携が必要になったということです。新たに配置される家庭教育支援のためにスクールソーシャルワーカーに期待します。
- 不登校の子どもや家庭に問題を抱えている子どもの心の安定を図るために相談員の対応等がうかがえ、改善されていることがわかります。今後も児童生徒、保護者等に寄り添える活動であって欲しいと思います。

【小中学校ICT活用支援事業】

- 学校からの要望に応えたICT支援員配置の復活については、寒河江市教育委員会としては大変前向きな取り組みであり、その姿勢に敬意を表します。
- 先生方の教材の研究、教育機器の活用についてのICT活用支援は欠かせません。平成28年度だけの縮小の方向ですが、平成29年度以降の拡充はぜひ行ってほしいと思います。

【就学援助事業（小学校）・同（中学校）】

- 要保護・準要保護児童生徒就学援助費のうち学校給食費の支給額が、10割の支給を行っている市町村が少ない中、寒河江市は国の基準より低い9割支給と伺いました。貧困児童生徒が増加している状況もあり、こうした児童生徒に対して行政主導で手を差し伸べることで安心安全が生まれると考えます。そうした面からもぜひ全額支給がなされるよう検討していただくことを強く要望します。
- 経済的に困難な児童生徒に就学支援することは将来ある子どもに希望を与えます。

【学校給食事業】

- 児童生徒の安全で栄養バランスのとれたおいしい給食のために、小中統一メニューや給食用農産物に関する定期的な会議等の取組をこれからも大切にして欲しいです。給食センター方式の中学校では特に大変だと思いますが、食物アレルギーを持つ児童生徒の保護者との連携、細やかな対応をお願いします。

(6) 文化財の保存・活用の充実

【市史編纂事業】

- 市史別編「民俗・生活編」が発刊され、寒河江市の歴史と文化が読み取れる貴重な資料です。多くの市民の方のご協力によりできたものと伺っております。後世につないでいくのは子どもたちです。ぜひ、小学校や中学校でも先生方に活用いただき興味関心を持っていただくことが大事です。

【埋蔵文化財調査事業】

- 本市出身の阿部祥人氏に関わる埋蔵文化財フェアの展示と講演会の参加者が、市民だけでなく県内外から多くあったことはとてもよかったです。多くの市民が歴史と文化に対する意識を高めるためにも、これからも本市の関わりのある企画を期待しています。

【郷土館保存事業】

- 他の自治体の郷土館との情報交換を密にしながら、オリジナリティのある展示会を企画するなどして集客率の向上、特にリピーターの確保がなされるよう努力していただきたいと思います。

【史跡慈恩寺旧境内総合調査事業】

- ガイダンス施設整備については、他からの観光客を考慮して、慈恩寺境内に止まることなくJR高松駅当たりも含めた広い範囲で検討してみるのもいかがでしょうか。また、歴史を重ねてきた慈恩寺の佇まいを大切にしながら進めてほしいと思います。
- 慈恩寺の長い歴史を再確認するような各種調査や、史跡慈恩寺のより深い理解につながるようなわかりやすい広報にこれからも力を入れて欲しいです。

(7) 教育行政に対する関心・意識の高揚

【教育委員会事務局管理事業】

- 新教育長制度への移行に伴い、総合教育会議の運営など新たな対応が求められています。また、関係部局との連携が必要な事業も増え、そのための調整作業が生じることになります。それだけに、教育委員会事務局業務のスリム化について全般的な見直しを図ることが大切になります。事務事業の点検・評価は、事業の見直しを行うためのきっかけをつくる作業であり、過去の実績に対する評価に止まらず、今後の事業のありようについての点検・評価を行うことも可能と考えます。

(8) 教育環境の充実

【情報教育推進事業（小学校）・同（中学校）】

- 情報教育の充実に向けて、市として積極的に設備投資を図っていただいていることに敬意を表します。情報機器は日進月歩の状況で進化をしており、メンテナンスが難しかったり購入計画を立てにくかったりするものです。最低限のランニングコストを維持するよう予算面で配慮しながら、情報教育環境の充実に努めていただきたいと思います。

V 点検・評価対象事業一覧

施策の区分	事業名	担当課	施策体系	頁
① 生涯学習の推進・充実	学級講座開設事業	生涯学習課	I-1-(1)	16
	青少年健全育成事業	生涯学習課	I-2-(2)	17
	芸術文化振興事業	生涯学習課	Ⅲ-2-(1)	18
	美術館運営事業	生涯学習課	Ⅲ-2-(2)	19
	公民館活動事業	生涯学習課	Ⅳ-1-(2)	20
	放課後子ども教室推進事業	生涯学習課	Ⅳ-1-(3)	21
	公民館整備事業	生涯学習課	Ⅳ-1-(4)	22
	寒河江さくらんぼ大学推進事業	生涯学習課	Ⅳ-1-(5)	23
② 読書活動の推進・充実	読書の盛んな学校づくり事業	学校教育課	I-3-(1)	24
	図書館管理運営事業	生涯学習課	I-3-(2)	25
	図書資料等購入事業	生涯学習課	I-3-(3)	26
	読書普及事業	生涯学習課	I-3-(4)	27
③ 生涯スポーツの推進・充実	生涯スポーツ振興事業	生涯学習課	I-5-(1)	28
	体育施設整備事業	生涯学習課	I-5-(3)	29
④ 特色ある学校づくりの推進・充実	さがえっこ育みアクションプラン推進事業	学校教育課	Ⅳ-3-(1)	30
	いのちと心を育む学校づくり支援事業	学校教育課	I-2-(1) I-3-(5) I-4-(3) I-6-(2) Ⅱ-2-(10) Ⅲ-1-(8) Ⅳ-2-(1) Ⅳ-3-(2)	31
⑤ 児童生徒の学ぶ力の育成	教育研究推進事業	学校教育課	Ⅱ-2-(1)	32
	理科教育センター運営事業	学校教育課	Ⅱ-2-(2)	33
	外国語指導助手招致事業	学校教育課	I-6-(1)	34
	教育相談事業	学校教育課	Ⅱ-2-(4)	35
	学習補助員配置事業	学校教育課	Ⅱ-2-(5)	36
	障害児通学支援事業	学校教育課	Ⅱ-2-(6)	37
	小中学校ICT活用支援事業	学校教育課	Ⅱ-2-(7)	38
	就学援助事業（小学校）	学校教育課	Ⅱ-1-(1) Ⅱ-2-(8)	39
	就学援助事業（中学校）	学校教育課	Ⅱ-1-(2) Ⅱ-2-(9)	40

	学校給食事業（小学校）	学校教育課	I-4-(1)	41
	学校給食事業（中学校）	学校教育課	I-4-(2)	42
⑥ 文化財の保存・活用の充実	市史編纂事業	生涯学習課	Ⅲ-1-(1)	43
	埋蔵文化財調査事業	生涯学習課	Ⅲ-1-(3)	44
	郷土館保存事業	生涯学習課	Ⅲ-1-(4)	45
	史跡慈恩寺旧境内総合調査事業	生涯学習課	Ⅲ-1-(7)	46
⑦ 教育行政に対する関心・意識の高揚	教育委員会事務局管理事業	学校教育課	V-1-(1)	47
⑧ 教育環境の充実	小学校管理事業	学校教育課	V-2-(1)	48
	中学校管理事業	学校教育課	V-2-(2)	49
	学校保健事業（小学校）	学校教育課	V-2-(3)	50
	学校保健事業（中学校）	学校教育課	V-2-(4)	51
	教育振興事業（小学校）	学校教育課	V-2-(5)	52
	教育振興事業（中学校）	学校教育課	V-2-(6)	53
	情報教育推進事業（小学校）	学校教育課	V-2-(7)	54
	情報教育推進事業（中学校）	学校教育課	V-2-(8)	55
	スクールバス運行事業	学校教育課	V-2-(9)	56

重点プロジェクト事業

プロジェクト名	事業名	事業の主たる担当課	頁
「さがえっこ」すくすくプロジェクト	「さがえっこ育みアクションプラン」の推進	学校教育課	57

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	学級講座開設事業	所管課・係	生涯学習課 中央公民館
施策体系	I 美しく豊かでたくましい心、元気な身体を育む人づくり	予算科目	10 教育費 4 社会教育費 4 公民館費
教育振興計画	1 学ぶ場が広がるまちづくり		

2. 事業の概要

事業目的	それぞれの公民館において、市民の実生活に即した学びや学術及び文化に関する各種の講座等を実施し、皆が元気な地域づくり、まちづくりに資する。
事業内容	それぞれの学習意欲に応じて、各世代を対象に各公民館で、各種学級や講座を実施する。

3. 予算額・決算額

当初予算額	1,498	補正額等		合計	1,498	決算額	1,013
-------	-------	------	--	----	-------	-----	-------

(単位:千円 千円未満切上げ)

4. 事業の実施状況

<p>(1) 少年教育講座／地区の小学生を対象に、体験を取り入れた活動などを実施した。</p> <p>①東部地区公民館「わくわく未来塾」／草笛制作やアイスづくりなどを実施した。参加者延べ121名。 ②柴橋地区公民館「柴っ子アドベンチャー倶楽部」／寒河江ダム見学やミニ門松づくりなどを実施した。参加者延べ20名。</p> <p>(2) 高齢者教室／地区の高齢者を対象に、仲間づくりや生きがいづくりに向けた講座を実施した。</p> <p>①東部地区公民館／＜寒河江地区＞視察研修を実施。参加者19名。＜西根地区＞「若返りの泉」を実施。5回講座。参加者延べ208名。＜三泉地区＞「泉塾」を実施。5回講座。参加者延べ185名。 ②南部地区公民館／南部はつらつ教室を実施。6回講座。参加者延べ161名。 ③柴橋地区公民館／高齢者セミナーを実施。3回講座。参加者延べ84名。 ④西部地区公民館／＜高松地区＞高齢者学級を実施。3回講座。参加者延べ300名＜醍醐地区＞いきがい老人大学を実施。3回講座。参加者延べ90名。＜白岩地区＞高齢者教室を実施。4回講座。参加者延べ160名。</p> <p>(3) 女性教養講座／地区の女性を対象に、教養や趣味の講座を実施した。</p> <p>①柴橋地区金谷エプロンスクール／5回講座。参加者延べ125名。 ②高松地区婦人学級／3回実施。参加者延べ150名。 ③白岩地区婦人学級／11回実施。参加者延べ287名。</p> <p>(4) 家庭教育講座／幼稚園や保育所などと連携し、親のための子育て講座などを実施した。</p> <p>①東部地区公民館／東部地区全域を対象に7回、「寒河江子育てすくすく」講座などを実施した。参加者延べ1,051名。 ②南部地区公民館／幼稚園の保護者を対象に、子育て講演会を実施した。参加者50名。 ③柴橋地区公民館／保育所の保護者などを対象に2回、講座を実施した。参加者延べ154名。 ④西部地区公民館／高松地区で4回、白岩地区で4回実施した。参加者延べ479名(高松263名、白岩216名)。</p> <p>(5) 寒河江市少年少女合唱団活動／小学生から高校生までの団員17名で構成し、市内外の各種演奏会などに出演した。 毎週土曜日に練習し、施設訪問や山形県少年少女合唱祭に出演したほか、第40回記念定期演奏会を開催した。</p>

5. 事業の評価

<p>各地区公民館でそれぞれ、地域の特色を生かしながら、少年や女性、高齢者などを対象に各種講座を実施し、豊かな人づくりに取り組んだ。また、地区内の幼稚園や保育所と連携し、小さい子どもを健やかに育むための家庭教育講座を実施した。 寒河江市少年少女合唱団は、40回記念定期演奏会を実施し、OBや保護者もステージで共演するなど、感動のステージを披露した。</p>

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	故郷を大切に思う子どもたちを育むため、地域の指導者を活用しながら、地域に伝わる体験活動等を取り入れた少年教育を継続して実施していく。また、老人クラブなど地域団体の活動が低下しているなか、シニア世代を対象にした歌声教室など、生きがいづくりに向けた新しい学習活動を実施していく。(平成28年度から、市少年少女合唱団活動は「公民館活動事業」に移行する。)

事務事業点検・評価調査

1. 事業名等

事業名	青少年健全育成事業	所管課・係	生涯学習課 生涯学習係
施策体系 教育振興計	1 美しく豊かでたくましい心、元気な身体を育む人づくり	予算科目	10 教育費
	2 道徳心、社会性を育むまちづくり		4 社会教育費
			7 青少年育成センター費

2. 事業の概要

事業目的	市青少年育成センターを中心に、関係団体と一体となって街頭指導や店舗等への巡回指導を実施し、青少年の健全育成を図る。
事業内容	青少年教育関係諸団体と連携を図りながら、市青少年育成センターによる街頭指導や環境浄化活動等を行う。 また、青少年育成推進員を委嘱して、青少年の健全育成と非行防止を図りながら、地域における運動を推進する。

3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	500	補正額等		合計	500	決算額	467
-------	-----	------	--	----	-----	-----	-----

4. 事業の実施状況

<p>市青少年育成センターでは、民生児童委員及び主任児童委員による年間23回の夕刻街頭指導及び青少年育成推進員による年間11回の夜間街頭指導を実施し、市内の商業ビル、JR駅、ゲームセンター、レンタルビデオ店、カラオケボックスなどを巡回した。本屋やコンビニにおける有害図書調査、青少年育成推進員による成人式会場の薬物禁止のチラシ配布も実施している。</p> <p>また、子ども・若者健全育成研修会において、自身も壮絶ないじめを受けた体験をもつ落語家の林家染太氏を講師として、いじめ・非行防止を呼びかける内容の講演会を開催した。</p>

5. 事業の評価

<p>民生児童委員等による夕刻街頭指導及び青少年育成推進員による夜間街頭指導を継続していることにより、寒河江警察署管内においては、青少年補導件数の減少に繋がっている。(H25 70件、H26 64件、H27 63件)</p> <p>子ども・若者健全育成研修会の講演会は、自身が受けたいじめの実体験をもとにした話で、参加者は真剣に聞き入っていました。</p>

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	<p>市青少年育成センターを中心に、青少年教育関係諸団体との連携を図りながら市内の夕刻及び夜間街頭指導を継続していくとともに、山形市や天童市の関係団体とも連携を図り、市外の大型店などの巡回指導にも参加していきます。</p> <p>また、子ども・若者健全育成研修会は、「いじめ・非行をなくそう」をテーマに開催内容を工夫しながら実施していきます。</p>

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	芸術文化振興事業	所管課・係	生涯学習課 文化センター事業管理係
施策体系 教育振興計 画	Ⅲ 歴史と文化を活かし、新たな文化を育む人づくり 2 芸術文化に親しみ、創造の喜びを育むまちづくり	予算科目	10 教育費 4 社会教育費 3 芸術文化振興費

2. 事業の概要

事業目的	市民の芸術文化に対する資質向上と、芸術文化に携わる取り組みの推進。
事業内容	多くの市民が質の高い芸術にふれるための自主事業の実施と、芸術文化団体の活動に対する支援。

3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	11,189	補正額等	△583	合計	10,606	決算額	9,962
-------	--------	------	------	----	--------	-----	-------

4. 事業の実施状況

(1) 市民文化会館自主事業の実施	
① NHKのど自慢 同予選会	5月31日(日) 入場者936名 5月30日(土) 入場者1,200名(入替え入場)
② 柳家小三治独演会	6月6日(土) 入場者680名
③ 第4回 悠久の里慈恩寺コンサート 宗次郎「土の響き」	8月29日(土) 入場者600名
④ 幼児演劇教室 劇団東少「ミュージカル 日本昔ばなし」	10月16日(金) 入場者672名(幼稚園、保育園4・5歳児)
⑤ 狂言師 野村萬斎 と女優 若村麻由美による 「平家物語の世界」～伝統と現代の出会い～	11月16日(月) 入場者909名
(2) 実行委員会等市民文化団体への支援	
① 第47回市総合文化祭(市芸術文化協議会主催)	10月25日(木)～11月4日(月) 参加団体45団体
② 県美展寒河江移動展(同 実行委員会主催)	10月 1日(水)～10月6日(月) 入場者524名
③ 第18回寒河江市音楽祭「春を呼ぶコンサート」 山響とみんなでつくる音楽祭inさがえ	3月27日(日) 入場者929名
(3) 山形交響楽団に対する支援	
(4) 舞台づくり支援事業 (演劇や音楽などの振興を推進するため、地区内高校や社会教育関係団体に支援)	
① 演奏力等向上支援事業 高校3回 社会教育団体3回 ② 発表会活動支援事業 高校2回 社会教育団体2回	

5. 事業の評価

<p>当年度は、まず5月に、「NHKのど自慢」を迎え、市内外からの熱狂的なファンと出演者で大盛況となり、全国生放送で寒河江市の魅力を発信することができた。また、自主事業においては、日本の伝統文化に焦点を絞った事業を実施し、高い集客を収めることができた。さらに、第4回目となる「慈恩寺コンサート」では満席の観客のもと、国史跡となった慈恩寺の魅力を大いにPRすることができた。また、寒河江市音楽祭「春を呼ぶコンサート」においては、県文翔館の支援を得て山形交響楽団を招聘し、地元の音楽団体との共演に歓喜の声が上がった。</p>

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	自主事業については、アンケートの要望などを参考にして、文化的要素や集客力の高いものを総合的に勘案して実施していく。また「市総合文化祭」や「市音楽祭」等の各団体で実施する事業や、高校・社会教育団体の活動の支援についても引き続き力を入れていき、多くの市民が芸術文化に関わることのできる環境を整備していく。

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	美術館運営事業	所管課・係	生涯学習課 文化センター事業管理係
施策体系	Ⅲ 歴史と文化を活かし、新たな文化を育む人づくり 2 芸術文化に親しみ、創造の喜びを育むまちづくり	予算科目	10 教育費 4 社会教育費 3 芸術文化振興費

2. 事業の概要

事業目的	優れた美術作品の鑑賞機会を提供し、美術館を通して中心市街地の活性化を図るとともに、市民の芸術文化に対する関心と豊かな心を養い、寒河江のまちの品格を高める。
事業内容	美術館運営にあたり、専門員1名を生涯学習課に配置し、常設展示のほか「市民ギャラリー」で特別企画展を含む数々の企画展を実施し、美術作品の鑑賞機会等を提供した。

3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	6,100	補正額等		合計	6,100	決算額	5,519
-------	-------	------	--	----	-------	-----	-------

4. 事業の実施状況

(1) 特別企画展の実施 社会福祉施設関係者やボランティアスタッフと実行委員会を組織し、「アートツリーやまがたvol.3」を実施した。内容は、施設利用者や若手作家の作品展示など。平成28年1月31日(日)～2月28日(日)に開催。来場者1,418名。
(2) 企画展の実施 ① 佐藤茂回顧展／平成27年7月15日(水)～8月4日(火)。来場者341名。 ② デッサン会／平成27年8月6日(木)～8月18日(火)。来場者322名。 ③ 埋蔵文化財フェア／平成27年8月12日(水)～9月6日(日)。来場者543名。 ④ 山川雄大絵本展／平成27年9月8日(火)～9月28日(月)。来場者739名。 ⑤ 名誉館長・郷間正観企画展／平成28年10月1日(木)～10月13日(火)。来場者388名。 ⑥ 市総合文化祭(作品展示)／平成27年10月27日(火)～11月3日(火)。来場者180名。 ⑦ 慈恩寺絵画コンクール／平成27年11月13日(金)～11月25日(水)。来場者230名。 ⑧ 寒河江子ども芸術展／平成27年12月23日(水)～1月14日(木)。来場者521名。 ⑨ ワークショップ写真展／平成28年1月25日(月)～1月27日(水)。来場者334名。

5. 事業の評価

絵本展やワークショップなど、子どもを対象とした企画が好評で、多くの来場者が訪れた。また、若手作家の企画展も、概ね好評だった。その反面、市総合文化祭の作品展示などについては参観者が伸び悩んだので、もっとPRに努めるなどの対策を講じていく必要がある。

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	出展者が実行委員会を組織して実施する特別企画展が1回しか開催できなかった。特別企画展は集客力が高い一方、出展者の負担も大きいので、補助割合を上げたり、企画運営を積極的に支援していくなどして、参加しやすい環境を整えていく。 また、展示企画の充実に引き続き取り組むほか、展示施設等を整備し、広報活動にも力を入れ、これからもたくさんの人に親しまれる美術館づくりを進めていく。

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	公民館活動事業	所管課・係	生涯学習課 中央公民館
施策体系 教育振興計画	IV 地域主体の活動による心豊かな人づくり 1 生涯をととした学習活動が盛んなまちづくり	予算科目	10 教育費
		項	4 社会教育費
		目	4 公民館費

2. 事業の概要

事業目的	社会教育・生涯学習の拠点として、市民の学習ニーズに即した講座や芸術文化、レクリエーション等の各種事業を実施し、生涯学習活動、公民館活動を推進する。
事業内容	地区公民館と分館が連携しながら、自主的な学習活動や研修会、地域づくり活動等を支援する。

3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	3,772	補正額等		合計	3,772	決算額	3,642
-------	-------	------	--	----	-------	-----	-------

4. 事業の実施状況

<p>生涯学習活動や地域活動の拠点として、地域に親しまれる公民館(分館)をめざし、各種事業を展開した。</p> <p>(1) 分館活動/市内61分館の分館長・分館主事を中心に、各地域で特色ある分館活動を展開した。</p> <p>(2) 生涯学習活動推進員/20名の推進員が、中央公民館活動などの事業運営に協力して取り組んだ。</p> <p>(3) 公民館活動に向けた用具等整備/運動用具や印刷用消耗品など、事業実施のための用具等を各地区公民館に整えた。</p> <p>(4) 学びのふるさと推進事業/生涯学習の地域力の向上と地域づくりのため、事業共催を実施した。(31件)</p> <p>①地域塾事業/分館と地区公民館が連携し実施する、複数回の学習会など(元町分館)</p> <p>②分館連携事業/分館と地区公民館が連携して実施する活動(西浦分館、箕輪分館、陵南町分館、上町分館)</p> <p>③社会教育団体との共催事業/全市的または地区を対象とした学習事業や生涯スポーツ振興事業、公民館大会(1月31日(日)、子ども会のための親と子の研修会(11月15日(日))、地区民レクリエーション大会や文化祭など。(26件)</p> <p>(5) 各公民館運営会議等の開催/各公民館の事業内容や事業計画について意見を聞き、事業の実施に取り組んだ。</p> <p>①中央公民館運営審議会/8名 年1回 ②東部地区公民館運営会議/17名 年1回 ③南部地区公民館運営会議/9名 年2回 ④柴橋地区公民館運営会議/13名 年1回 ⑤西部地区公民館運営会議/21名 年1回</p>

5. 事業の評価

<p>市内61分館で組織する公民館連絡協議会と連携しながら研修会や交流会を実施し、地域づくりの拠点となる分館活動の活性化を図った。また、地区公民館では、各種団体と協力しながらレクリエーション大会や文化祭などを実施し、生涯学習活動を展開した。中央公民館や地区公民館事業については、運営審議会や運営会議で意見を聴き、それぞれの地区や公民館の特色を生かした事業の実施に努めた。</p>

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	<p>地域コミュニティの活性化を図るため、各地区公民館は、地域活動の拠点となる分館活動を継続して支援していく。また、研修会や交流会などを通して、分館と地区公民館の連携を一層強めながら、活力ある地域づくりに向けた事業を実施していく。</p> <p>これからも各地区公民館は常に環境を整え、たくさんの人が気軽に訪れる地域の「いいい場」、地域活動に役立つ様々なことがわかる「情報センター」を目指して、各分館の取組を支援し、生涯学習活動を通じた地域の活性化を図っていく。(平成28年度から、市少年少女合唱団活動を加える。)</p>

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	放課後子ども教室推進事業	所管課・係	生涯学習課 生涯学習係
施策体系	IV 地域主体の活動による心豊かな人づくり 1 生涯をととした学習活動が盛んなまちづくり	予算科目	10 教育費 4 社会教育費 10 生涯学習推進費
教育振興計画			

2. 事業の概要

事業目的	放課後や週末及び小学校の長期休業中の子どもたちの安全で健やかな居場所づくりを推進し、集団遊びや地域の人々との触れ合いを通して子どもの社会性を養い、さらに、地域の教育力の向上を図る。
事業内容	寒河江市放課後子どもプランの事業として、放課後や週末等に市内の全10小学校児童を対象に教室を開催。

3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	1,912	補正額等		合計	1,912	決算額	1,287
-------	-------	------	--	----	-------	-----	-------

4. 事業の実施状況

市内全10小学校児童を対象に5教室を開催。各教室にコーディネーターを配置し、教育活動推進員等民間ボランティアの支援を受け、様々な学びや遊び、地域独自の体験活動等を行い、各教室とも夏休み等を中心に10日間開設した。内容としては、夏休みおさらい学習などの学習活動やカヌー及びグラウンド・ゴルフのスポーツ体験や勾玉ペンダント・万華鏡作りなどの工作活動、その他様々な活動を実施した。

(1) コーディネーター	5名	内訳 寒河江小・西根小・三泉小 108名 寒河江中部小 90名 南部小 44名 柴橋小 42名 高松小・醍醐小・白岩小・幸生小 16名
(2) 教育活動推進員	37名	
(3) 参加者総数	300名	

5. 事業の評価

各教室とも工夫をこらした事業内容とすることにより、学年間の交流、地域の方々との交流が図られ、充実した教室を展開することができた。今年度から放課後児童クラブとの連携が図られたが、現場からは指導員不足との声もあり、今後は指導員体制の充実を図ることが必要である。しかし、指導員体制の面で、この教室の経験者(卒業生)が中学生になってから、ボランティアスタッフとして参加し、子ども達の面倒をみてくれるという好ましい流れがあったことは嬉しいことである。

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	子ども達の社会性を高めるため、地域の大人との触れ合いや自然体験の機会を盛り込み、事業を行っていく。また、引き続き放課後児童クラブとの連携を行うとともに、指導員の増員や中学生ボランティアスタッフの活用により体制充実に努める。

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	公民館整備事業	所管課・係	生涯学習課 生涯学習係
施策体系	IV 地域主体の活動による心豊かな人づくり 1 生涯をととした学習活動が盛んなまちづくり	予算科目	10 教育費 4 社会教育費 1 社会教育総務費

2. 事業の概要

事業目的	地域のコミュニティの核である分館の整備を支援し、機能充実を図ることで更なる地域力の向上を目指す。
事業内容	分館の新築・増改築、駐車場舗装及び耐震改修等の整備事業に対し、予算の範囲内で事業費の一部を補助する。

3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	4,640	補正額等	17,144	合計	21,784	決算額	21,784
-------	-------	------	--------	----	--------	-----	--------

4. 事業の実施状況

(1) 中町公民館トイレ改修工事 事業費 1,490,400円 面積等 1ヶ所	完成年月日 平成27年 7月13日	補助金額 993,000円
(2) 西根南部公民館トイレ改修工事 事業費 533,628円 面積等 1ヶ所	完成年月日 平成27年 9月17日	補助金額 177,000円
(3) ひがし公民館耐震補強設計業務委託 事業費 626,400円 面積等 335㎡	完成年月日 平成27年 8月31日	補助金額 417,000円
(4) 幸生ふれあい友遊館スロープ他設置工事 事業費 356,400円 面積等 1式	完成年月日 平成27年12月14日	補助金額 237,000円
(5) 上町公民館水洗トイレ設置工事 事業費 3,656,880円 面積等 1ヶ所	完成年月日 平成27年11月16日	補助金額 2,925,000円
(6) 鹿島公民館耐震補強実施設計業務委託 事業費 259,200円 面積等 76.19㎡	完成年月日 平成27年11月26日	補助金額 172,000円
(7) 栄町公民館耐震補強実施設計業務委託 事業費 354,240円 面積等123.13㎡	完成年月日 平成27年10月22日	補助金額 236,000円
(8) 栄町公民館耐震補強工事及び監理業務委託 事業費 2,440,800円 面積等123.13㎡	完成年月日 平成27年12月17日	補助金額 1,627,000円
(9) 曙町公民館新築工事等 事業費32,357,000円 面積等157.56㎡	完成年月日 平成27年12月10日	補助金額 15,000,000円

5. 事業の評価

7つの分館において、耐震補強及びトイレ改修工事等を実施し、地域活動拠点施設の整備促進が図られた。また、曙町公民館においては、一般財団法人自治総合センターの助成により公民館を新築し、地域活動の活性化に繋がっている。

6. 今後の対応等

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	地域からの要望が多かった分館の修繕、エアコンの設置、照明のLED化の3事業を補助対象事業に加え、事業の拡充を図る。また、分館の耐震化についても、安心安全な施設整備を図るため、引き続き推進していく。(H28予算額10,270千円)

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	寒河江さくらんぼ大学推進事業	所管課・係	生涯学習課 中央公民館
施策体系 教育振興計	IV 地域主体の活動による心豊かな人づくり	予算科目	10 教育費
	1 生涯をととした学習活動が盛んなまちづくり		4 社会教育費
			4 公民館費

2. 事業の概要

事業目的	生涯学習と交流の場として、中央・地区公民館をつないだ、1 誰もが自己実現のため生き生きと学び、2 学びを通じた触れ合いで人とひとつながり、3 学びの成果が地域で輝きまちを育てることを目的とする市民大学を開設する。
事業内容	中央公民館と4つの地区公民館をキャンパスとして、7学部でそれぞれのテーマを設けた市民講座を実施し、教養と豊かな心があふれる人間を育む。講座案内チラシを市民へ配布して受講生を募り、講師は著名人や地域で活躍する方など幅広く設定する。

3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	2,100	補正額等		合計	2,100	決算額	1,562
-------	-------	------	--	----	-------	-----	-------

4. 事業の実施状況

<p>中央公民館と4つの地区公民館の5つのキャンパスで、7つの学部を構成し、成人講座を実施した。受講生延べ234名 開講講座／元YBC山形放送のアナウンサー・横尾友栄氏を迎え、7月12日(日)に実施した。受講生134名が参加 キャンパス及び学部構成</p> <p>(1) 中央キャンパス(中央公民館)</p> <p>① 生き生き元気学部／主に60歳以上の方を対象に、ミステリー作家の講演、健康体操教室、陶芸体験、歌声茶論を実施 7月25日(土)～9月8日(火)に4講座(5回)。受講生延べ184名</p> <p>② 歴史学部／絵図から見る寒河江の歴史(2回)、寒河江の仏像講座、おもしろ歴史調べを実施。8月8日(土)～11月7日(土)で4回 受講生延べ200名</p> <p>③ 芸術ふれ愛学部／文化財修復、若手作家逸品鑑賞会、ぼんぼりづくり、狂言体験を実施。7月20日(月)～11月15日(月)に4回。受講生延べ84名 (講座終了後に、寒河江市美術館で作品展示会を実施した。)</p> <p>(2) 東部キャンパス(東部地区公民館)</p> <p>④ チャレンジ昇学部／山遊び講座、地域おこし講座、落語、トークの心得講座を実施。9月6日(日)～11月5日(木)に4回。受講生延べ150名</p> <p>(3) 南部キャンパス(南部地区公民館)</p> <p>⑤ もっと学ぶ歴史学部／信仰から見た寒河江、紅花と最上川舟運、寒河江の戦国世界、上杉鷹山と寒河江。9月12日(土)～10月25日(日)に4回。受講生延べ136名</p> <p>(4) 柴橋キャンパス(柴橋地区公民館)</p> <p>⑥ カメラの心得学部／カメラの基礎講座、実技講座、撮影会、作品発表会を実施。8月27日(木)～11月19日(木)に4回。受講生延べ84名 (講座終了後に、柴橋地区公民館と寒河江市美術館で作品展示会を実施した。)</p> <p>(5) 西部キャンパス(西部地区公民館)</p> <p>⑦ ふるさと再発見学部／美味しい豆腐講座、エキスパート菜園講座、バックパッキング(歩く旅)講座、味力発見講座を実施 8月24日(月)～10月24日(土)に4回。受講生延べ120名</p>

5. 事業の評価

<p>「学びで築くひと・まち・未来」を全体方針として、各公民館をキャンパスに、5公民館7学部で成人講座を実施した。2年目となり、キャンパスカフェなどで受講生相互の交流を深めたほか、開講講座や各学部の講座の実施にあたっては、運営委員が活躍した。講座終了後には、アンケート結果などをもとに、次年度の学部構成や講座内容について運営委員で話し合い、次年度の講座づくりを意欲的に検討した。</p>

6. 今後の対応等

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	<p>歴史学部など、人気が高い学部は継続していく一方、広い世代が参加しやすくなるように、開催日や開催時間などを設定し、受講生による運営委員会で話し合い、学部構成や講座内容を見直しながら、継続実施する。平成28年度は、定員を増やすほか、高度で専門的な内容を学ぶ「大学院」の設置について検討し、平成29年度の開設を目指す。また、運営委員会を中心とした自主的運営を、これからも一層推進していく。(H28予算 1,894千円)</p>

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	読書の盛んな学校づくり事業	所管課・係	学校教育課 指導推進室 指導係
施策体系	I 美しく豊かでたくましい心、元気な身体を育む人づくり	予算科目	10 教育費
教育振興計画	3 読書の盛んなまちづくり	項	1 教育総務費
		目	3 教育指導援助費

2. 事業の概要

事業目的	読書の盛んな学校づくりの推進を図り、読書好きな子どもを育成する。
事業内容	読書活動推進員を学校に配置し、学校における読書環境の整備を行うとともに、読み聞かせやブックトーク等の実践により国語科の授業を充実させる。また、「図書館管理システム」を有効に活用し、児童生徒の読書環境の充実を図る。

3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	6,148	補正額等		合計	6,148	決算額	5,723
-------	-------	------	--	----	-------	-----	-------

4. 事業の実施状況

(1) 読書活動推進員の配置
①配置人数 5名
②配置校 寒河江小・西根小・(陵東中) 寒河江中部小・三泉小 南部小・柴橋小・(陵南中) 醍醐小・高松小・(陵西中) 白岩小・幸生小
③業務内容 児童生徒への読書指導及び図書選定の助言、図書室の整備、学習支援 その他児童生徒の読書活動推進のための業務
④勤務体制 年間208日程度、各小学校に曜日ごとに2～3日の勤務、中学校は、必要に応じて対応
(2) 読書環境の整備
①図書館管理システムのサポート業務の委託

5. 事業の評価

<p>本市で配置している読書活動推進員は、図書環境の整備や児童生徒に対する読書の啓発につながる活動だけでなく、ブックトークや読み聞かせなど、国語の授業にも積極的に関わり、児童生徒の学びの充実に寄与している。寒河江中部小では、こうした取組が継続して行われていることが評価され、子どもの読書活動優秀実践校として、文部科学大臣表彰に輝いた。</p> <p>また、市教育研究所の読書活動推進に関する研修部会では講師を務め、所属している教員を対象にブックトークを作り上げる活動や本を紹介するポップを作成する研修など、今後の国語科の授業で活用できる研修を実施した。</p>

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	配置している5名の読書活動推進員で市内すべての小中学校を受け持つ体制を今後も継続し、各学校における図書環境の整備だけでなく、教員と連携した学習支援を引き続き推進していくことで、各学校におけるさらなる読書活動の充実や授業改善につなげていく。

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	図書館管理運営事業	所管課・係	生涯学習課 図書館:業務係
施策体系 教育振興計 画	I 美しく豊かでたくましい心、元気な身体を育む人づくり	予算科目	10 教育費
	3 読書の盛んなまちづくり		4 社会教育費
			5 図書館費

2. 事業の概要

事業目的	図書館の機能充実と良好な環境の維持を図るため、施設の保守管理や修繕等を行い、利用者の利便性の向上を図る。
事業内容	図書館機能の充実と施設の適切な維持管理を行うため、空調機器保守点検、清掃や機械警備を業務委託するほか、施設設備の整備、修繕を行う。また、更なる利便性向上のため、市民のニーズに的確に対応する管理運営を行う。

3. 予算額・決算額

						(単位:千円 千円未満切上げ)	
当初予算額	21,814	補正額等	1,244	合計	23,058	決算額	22,345

4. 事業の実施状況

(1) 保守点検、管理運営業務等 ① 設備管理業務、機械警備業務、清掃業務、冷暖房設備保守、自動ドア保守、エレベーター保守、コンピューター保守 外 業務委託 ② 図書館情報システム賃借、駐車場賃借 外
(2) 工事、修繕等 2階男子トイレ小便器改修 外
(3) 利用状況 ① 入館者数 113,202人(1,400人減) ② 開館日数 330日(2日増) ③ 貸出者数39,204人(50人減) ④ 貸出冊数156,383冊(2,390冊増)

5. 事業の評価

図書館の適切な管理運営により快適で利用しやすい環境を提供している。施設等の維持管理による安全性と、図書館機能の充実による利用者のニーズに対応したサービスの向上に努めており、入館者の多様な利用につながっている。また、駐車場の整備により利用者の利便性を確保した。

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	施設等の適切な管理と計画的な整備を進め、きめ細やかで安定した図書館サービスの提供や図書館機能の向上を図り、安全で快適な環境の維持管理を行っていく。

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	図書資料等購入事業	所管課・係	生涯学習課 図書館：業務係
施策体系	I 美しく豊かでたくましい心、元気な身体を育む人づくり 3 読書の盛んなまちづくり	予算科目	10 教育費 4 社会教育費 5 図書館費

2. 事業の概要

事業目的	市民の生涯学習の拠点施設として、図書・視聴覚資料等を購入・整備し、図書資料及び図書館機能の充実を図る。
事業内容	一般図書、児童図書、視聴覚資料(音響・映像)、雑誌等について、「図書館資料選定要領」に基づき、公共図書館の役割を踏まえ、幅広いニーズに対応しながら計画的な整備を進める。

3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	9,201	補正額等		合計	9,201	決算額	9,124
-------	-------	------	--	----	-------	-----	-------

4. 事業の実施状況

図書館蔵書状況(平成28年3月末)			
① 一般書	100,565冊(前年度比 2,102冊増)	「購入冊数	3,191冊」
② 児童書	30,682冊(前年度比 270冊増)	「購入冊数	945冊」
③ 視聴覚資料(音響・映像)	4,046点(前年度比 32点増)	「購入点数	25点」
④ 雑誌等	3,683冊(前年度比 909冊増)	「購入冊数	904冊」

5. 事業の評価

<p>郷土の歴史や文化、地域情報誌など幅広い資料の収集と整備に努め、図書館アドバイザーによる児童書の重点整備に加え、乳幼児期からの読書機会を提供するためのブックスタート絵本を継続購入した。</p> <p>また、図書館に備えておくべき図書資料等を基本とし、ニーズの高い新刊図書資料等の選定や利用者からのリクエストに応えた図書資料等の購入により、幅広い利用者層に対応した蔵書の充実を図った。</p>

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	公共図書館としての機能の充実を図り、利用者ニーズを的確に把握しながら、図書資料等を継続的に購入、整備していく。

事務事業点検・評価調査

1. 事業名等

事業名	読書普及事業	所管課・係	生涯学習課 図書館・業務係
施策体系 教育振興計 画	I 美しく豊かでたくましい心、元気な身体を育む人づくり 3 読書の盛んなまちづくり	予算科目	10 教育費 4 社会教育費 5 図書館費

2. 事業の概要

事業目的	生涯学習の拠点施設として、利用者にとって魅力ある図書館づくりを進め、読書の盛んなまちづくりを推進する。
事業内容	各層の読書活動の普及を図るため、定例事業や図書館自主事業等を実施する。

3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	2,142	補正額等		合計	2,142	決算額	2,063
-------	-------	------	--	----	-------	-----	-------

4. 事業の実施状況

(1) 定例事業 <ul style="list-style-type: none"> ① ボランティアグループによる「おはなし会」の開催(4団体・約120回) ② 子どもに読ませたい本のコーナー等の設置(通年) ③ 「ブックテーマコーナー(ミニブックテーマコーナー)」等の設置(通年) ④ 新入生及び未登録児童の一斉登録事業の実施(192名) ⑤ 市子育て推進課、健康福祉課及びブックスタートサポーターとの連携で「ブックスタート事業」実施(12回) ⑥ 3ヵ月児健診時と子育て支援施設への出張による「絵本の部屋」開催(24回) ⑦ 展示ホールを活用した多様な展示会等を開催(13団体他)
(2) 図書館自主事業 <ul style="list-style-type: none"> ① 「さくらんぼの都市さがえ全国俳句大会」の開催 7月5日 文化センター 230名参加 ② 「さがえ図書館まつり2015 夏まつり」の開催 (8月9日 図書館 280名参加) ③ 「シリーズ山形の文学を探る」の開催 (8月～11月・全4回(5テーマ) 図書館、現地視察 延べ200名参加) ④ 「落合恵子氏 読書講演会」の開催 (10月18日 ハートフルセンター 170名参加) ⑤ 「MあんどB人形劇公演」の開催 (10月30日 図書館 市内幼稚園・保育所ほか対象 400名参加) ⑥ 「さがえ図書館まつり2015 冬まつり」の開催 (12月13日 図書館 400名参加) ⑦ 安孫子荻聲ギャラリー常設展示

5. 事業の評価

定例事業の定着化や図書館自主事業の継続的な実施により、図書館や読書への関心を高め読書の普及拡大につながっている。図書館まつりは、新たに冬まつりを開催し、より多くの参加者を得ることができた。句をテーマにした「ブックテーマコーナー」や乳幼児期からの読書推進を目的とした「ブックスタート事業」、ボランティアグループによる「おはなし会」など利用者から好評を得ている。未就学児から高齢者まで幅広いニーズに応えた多彩な事業や学習、読書活動支援により、図書館をきっかけとした読書活動をはじめとする文化的活動の深まりや広がりにも繋がった。

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	様々な読書機会を提供するため継続的かつ多彩な読書普及事業を開催し、読書活動の広がりや深まりを図っていく。

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	生涯スポーツ振興事業	所管課・係	生涯学習課 スポーツ振興室
施策体系 教育振興計 画	I 美しく豊かでたくましい心、元気な身体を育む人づくり	予算科目 目	10 教育費
	5 スポーツに親しみ心身の健康を育むまちづくり		5 保健体育費
			1 保健体育総務費

2. 事業の概要

事業目的	市民一人ひとりが、いつでもスポーツに親しむことができる社会環境の実現を目指す。
事業内容	体育施設の年間を通じた利用とスポーツ振興を図るため、指定管理者や各種スポーツ団体と連携して、ニュースポーツ出前講座、スキー教室、少年少女カヌー教室、市民カヌー教室を開催するほか、スポーツ大会を開催支援することにより、スポーツに親しむ基盤整備とスポーツ人口の拡大を図る。

3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	1,965	補正額等	△ 140	合計	1,825	決算額	1,809
-------	-------	------	-------	----	-------	-----	-------

4. 事業の実施状況

より多くの市民がスポーツに親しむことができるように、各種スポーツ団体や寒河江市総合型スポーツクラブ及び一般財団法人寒河江市体育振興公社に事業の一部を委託し、様々なスポーツ教室や講習会等の実施を通して、多くの市民にスポーツの機会を提供した。

(1) 少年スポーツ活動育成事業
 【スポーツ教室】① ジュニアスポーツ教室(1回 116名) ② カヌー教室(3回23名)
 【スポーツ大会】① 野球(2回8チーム) ② バレーボール(10チーム) ③ ミニバスケットボール(11チーム)
 ④ バスケットボール(11チーム) ⑤ 剣道(110チーム)

(2) ファミリースポーツ推進事業
 ① 市民スキー教室(1回 75名) ② ニュースポーツ出前教室(8回 337名) ③ 市民カヌー教室(2回 14名)

(3) 生涯スポーツ推進事業
 ① 市スポーツレクリエーション祭(1回 496名) ② 婦人ナイターバレーボール大会(6チーム)
 ③ 成人スポーツ講座(4講座 35回 延べ361名)

(4) アスポートさがえへの委託事業
 ① ちびっこスポーツ教室(16回 30名) ② 親子スポーツ教室(12回 15組30名) ③ スポーツ面白講座(2回 34名)
 ④ ジュニアスポーツ教室(20回 30名)

(5) (一財)寒河江市体育振興公社の自主事業 スポーツ教室の開催(人数は延べ人数)
 ① 少年少女柔道教室(20回 480名) ② 少年少女剣道教室(20回 192名) ③ 親子テニス教室(8回 96名) ④ 少年少女ソフトテニス教室(10回 104名) ⑤ 水泳教室(6回 153名) ⑥ 弓道教室(10回 136名) ⑦ グラウンド・ゴルフ体験会(2回 54名)

(6) スポーツ指導者養成事業 1回71名参加

5. 事業の評価

誰もが気軽にスポーツに親しみ、心身の健康増進を推進するために、様々なスポーツ教室を開催し、指定管理者等の委託事業や新たにスポーツ指導者養成事業等に取組ながらスポーツ人口の獲得につながっている。

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	様々なスポーツ教室を開催し、より多くの市民がスポーツに親しむ機会を提供することで、スポーツ人口の増加を図るとともに、グリバーさがえを利用したカヌー競技の普及拡大や、水面広場におけるスポーツ(スライダ)やレクリエーション利用の拡大に努めていく。

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	体育施設整備事業	所管課・係	生涯学習課 スポーツ振興室
施策体系	I 美しく豊かでたくましい心、元気な身体を育む人づくり 5 スポーツに親しみ心身の健康を育むまちづくり	予算科目	10 教育費 5 保健体育費 1 保健体育総務費

2. 事業の概要

事業目的	安全安心、快適で利用しやすい体育施設の整備を図る。
事業内容	利用者が安心して、快適に利用できるよう体育施設の整備・改修を行う。市民体育館テニスコート人工芝が老朽化し危険性があるため改修工事を実施する。

3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	45,237	補正額等	3,533	合計	48,770	決算額	48,770
-------	--------	------	-------	----	--------	-----	--------

4. 事業の実施状況

市民体育館、屋内多目的運動場について、次の業務を実施した。

(1) 寒河江市市民プール上屋テント購入	6,804 千円
(2) 寒河江市市民体育館屋上漏水調査業務委託	318 千円
(3) 寒河江市市民体育館雨水排水管交換工事	890 千円
(4) 寒河江市市民体育館トレーニングコースガラス交換工事	2,268 千円
(5) 寒河江市市民体育館消防設備消火ポンプ用自家発電設備修繕	540 千円
(6) 寒河江市市民体育館テニスコート人工芝改修工事	36,720 千円
(7) 寒河江市屋内多目的運動場イルミネーション設置工事	1,230 千円

5. 事業の評価

老朽化により危険性があった市民体育館テニスコート人工芝改修工事や市民体育館屋根漏水修繕の実施により、安全安心、快適で利用しやすい体育施設の整備が図られ、多くの市民の施設利用の向上につながっている。

6. 今後の対応等

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	安全安心、快適な施設の整備を図るため、市民体育館アリーナ改修工事等、老朽化している箇所の修繕、改修工事を計画的に進めていく必要がある。(H28予算 133,332千円)

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	さがえっこ育みアクションプラン推進事業	所管課・係	学校教育課 指導推進室 指導係
施策体系	IV 地域主体の活動による心豊かな人づくり	予算科目	10 教育費
教育振興計画	3 地域に開かれた学校、学びを高め合うまちづくり		1 教育総務費
			3 教育指導援助費

2. 事業の概要

事業目的	市教育振興計画の重点施策、並びに新第5次振興計画の重点プロジェクト「さがえっこすくすくプロジェクト」の一環として推進する「さがえっこ育みアクションプラン」の中核となる事業を実施する。
事業内容	「さがえっこ育みアクションプラン」推進本部を設置し、事業の周知啓発を行う。また、各小学校区に学校支援地域本部を設置し、地域で学校を支援するしくみづくりを行う。

3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	4,381	補正額等		合計	4,381	決算額	4,057
-------	-------	------	--	----	-------	-----	-------

4. 事業の実施状況

(1) 推進本部の設置	<ul style="list-style-type: none"> ①教育長を本部長とし、学校、幼稚園・保育所、保護者、地域の代表、関係各課長等を構成員とする会議を年3回開催し、事業の推進方策等を検討 ②平成23年度に制定した指針「さがえっこの育み10か条」について、年度始めにリーフレットを6,500部作成し、幼稚園・保育所、小中学校の保護者・教職員等に配布してPTA総会時に話をしたり、各公民館に掲示したりするなどの啓発活動を実施 ③「さがえっこ育みフォーラム」の企画と開催 (11月3日 明橋大二氏による講演「さがえっこすくすく子育てハッピーアドバイス」、参加者約120人)
(2) 学校支援地域本部事業	<ul style="list-style-type: none"> ①各小中学校に学校支援地域本部を設置し、地域住民が学校を支援する学校支援ボランティア活動を推進 ※学校支援ボランティアの総数 2,224人 (26年度:2,059人)

5. 事業の評価

<p>事業開始から5年目となった本年度も、指針となる「さがえっこの育み10か条」の内容について、リーフレットを活用しながら、学校等と家庭、地域が互いに連携し、社会全体で寒河江の子どもたちを育むことを啓発してきた。特に、「あいさつ」「読書」「生活リズム・食育」の3点を引き続き重点として掲げ、各小中学校や幼稚園・保育所、家庭、地域が連携して、具体的な取組を推進してきた。</p> <p>さがえっこ育みフォーラムでは、真生会富山病院心療内科部長で、ベストセラー「子育てハッピーアドバイス」シリーズの著者でもある明橋大二先生においでいただき、子どもにとって大切な自己肯定感を高める子育てについてわかりやすく講演いただいた。</p> <p>学校支援地域本部事業では、すべての小中学校に設置されている「学校支援地域本部」で、学校や地域の状況に応じた学校支援ボランティア活動を実施した。地域住民や保護者等、学校支援ボランティアとして関わる人数も、昨年度に比べて増加した。</p>

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	<p>28年度以降は「さがえっこ育み推進事業」として事業を継続し、第6次市振興計画・第2次市教育振興計画の内容や子どもたちを取り巻く現状を反映させた、新たな「さがえっこの育み10か条」を制定する。すこやかな「さがえっこ」の育成のために、今後も市民に対して新たな「10か条」の周知・啓発に努めていく。</p> <p>また、保護者や地域全体で学校の教育活動を支援していく体制の一層の充実が求められていることを受け、学校支援地域本部については、地域コーディネーターが未配置である小学校へ、段階的にコーディネーターの配置を推進していく。</p>

事務事業点検・評価調査

1. 事業名等

事業名	いのちと心を育む学校づくり支援事業	所管課・係	学校教育課 指導推進室 指導係
施策体系 教育振興計画	I 美しく豊かでたくましい心、元気な身体を育む人づくり 2 道徳心、社会性を育むまちづくり 3 読書の盛んなまちづくり 4 いのちと心を育む食育を推進するまちづくり 6 国際化に対応したまちづくり II 郷土を愛し、次代を担う意欲ある人づくり 2 児童生徒の学ぶ力を育むまちづくり III 歴史と文化を活かし、新たな文化を育む人づくり 1 歴史と伝統文化を活かしたまちづくり IV 地域主体の活動による心豊かな人づくり 2 家庭の教育力を高めるまちづくり 3 地域に開かれた学校、学びを高め合うまちづくり	予算科目	10 教育費 1 教育総務費 3 教育指導援助費

2. 事業の概要

事業目的	市教育振興計画の重点施策並びに新第5次市振興計画の重点プロジェクト「さがえっこすくすくプロジェクト」の一環として推進する「さがえっこ育みアクションプラン」の実現のために、学校における取組の具現化を図る。
事業内容	子どもたちの学力や体力・道徳心の向上、基本的な生活習慣の確立など、学校が家庭や地域と連携して取り組む活動や、地域の実態に応じた特色ある教育活動を支援する。

3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	3,400	補正額等		合計	3,400	決算額	3,400
-------	-------	------	--	----	-------	-----	-------

4. 事業の実施状況

(1)	各学校において、平成23年度から推進している「さがえっこ育みアクションプラン」に基づき、本事業を活用して、食育推進活動や子どもの生活リズムの確立を図る活動、子どもの道徳心や社会性を育む活動、読書の盛んな学校づくり活動などについて、家庭や地域と連携した取組を展開している。
(2)	特色ある教育活動については、ピオトープでの学習やホテルの里づくり、寒河江川での川遊びや鮭の稚魚放流など地域の自然を生かした学習、慈恩寺や幸生銅山など歴史にまつわる学習、太鼓や田植え踊り、大黒舞などの伝統芸能・文化を生かした学習、谷沢梅を使った料理やさくらんぼなど地域の特産品に関する学習、キャリア形成に関わる学習など、多様な学習が展開されている。

5. 事業の評価

<p>各学校では、趣旨に基づいて本事業を有効に活用し、「さがえっこ育みアクションプラン」の具現化を図るために、いのちと心を育む活動や地域の特色を生かした教育活動を主体的に展開している。</p> <p>また、本事業を展開していくにあたり、学校規模や児童生徒数でなく、提出された事業計画を十分に精査し、事業の重要度や必要性を考慮しながら、各学校の事業に対する予算配分を行っている。そのため、各学校では地域性や独自性のある活動等が主体的に展開されている。</p>

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 廃止
今後の対応	28年度からは、市の第6次振興計画・第2次教育振興計画に基づき、児童生徒がふるさとを知り、学び、体験し、郷土を愛する心を育む教育活動や、ふるさとの未来を担う児童生徒に豊かな心や健やかな体を育む教育活動を支援するために、「ふるさと学習支援事業」として展開していく。今後も、学校や地域の実態・課題に応じた活動を、それぞれの学校で主体的に計画し実行していくことで、目指す児童生徒を育成していくことを周知していく。

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	教育研究推進事業	所管課・係	学校教育課 指導推進室 指導係
施策体系	Ⅱ 郷土を愛し、次代を担う意欲ある人づくり	予算科目	10 教育費
教育振興計画	2 児童生徒の学ぶ力を育むまちづくり		1 教育総務費
			4 教育研究所費

2. 事業の概要

事業目的	教職員の資質を向上させるとともに、児童生徒の学力の状況を把握し、学力の向上を図る。
事業内容	教育研究所を設置し、各研究部、研修部等における教職員の主体的な研修活動を行う。また、児童生徒の学力検査及び知能検査を実施し、結果の分析を行うとともに、これに基づく学力向上対策や授業改善を実践する。

3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	5,120	補正額等		合計	5,120	決算額	4,773
-------	-------	------	--	----	-------	-----	-------

4. 事業の実施状況

(1) 教育研究所
①研究紀要編集委員会 研究紀要「教育風土さがえ」第28号を発刊(会議2回)
②研修部 7部会(授業改善・生徒指導・食育・教育環境・情報教育・特別支援教育・読書活動)(研修会各2回)
③研修会
○全員集会全体会(5月18日) 寒河江市教育委員会 草苺和男教育長 「教育改革と教職員に期待すること～『桃李成蹊』『自強不息』の教え～」
○全体講演会(7月30日) 国立教育政策研究所 初等中等教育研究部 総括研究官 山森光陽氏 「さんさんプランを踏まえた指導と評価」 (第54回山形県教育研究所連盟総会並びに研究発表大会 午後の記念講演と兼ねて実施)
○学力up授業づくり研修会(10月29日、11月11日、1月26日)
④学力向上対策委員会
○小2～中3における教研式NRT学力検査の実施(国語及び算数・数学:全学年、理科:小4以上、社会:小6以上、英語:中2以上)、小2、4、6、中1における知能検査の実施(4月)
○学力対策委員会の開催(5月・1月)と、報告書「つきたい力」の作成・配布
○結果を受けて、各学校での個に応じた指導や授業改善の取り組み

5. 事業の評価

<p>年2回の研修部会では、学級活動における食育の授業について学び合う研修や読書活動推進員を講師にブックトークを作り上げたりポップを作成したりする研修など、「さがえっこ育みアクションプラン」と連携した研修も行われた。また、「授業の改善と創造」「食育」「情報教育」に関する研修部会では、授業を参観して研究員が互いに学び合うスタイルでの研修が進められた。ほかにも、外部の講師を招聘しての講話等、研究員のニーズや現在の教育課題に応じた主体的な研修が、どの研修部でも積極的に進められた。</p> <p>今年度の研修会は、市教委の「学力up授業づくり研修会」を兼ねる形で実施した。各回とも、授業者の授業を参観したあと、学力向上に向けて日々取り組んでいることについて授業者から話を聞くことや、参加者同士で話し合うことなどを通して、確かな学力を育むために大切にすべきことを考えることができた。</p> <p>学力対策委員会では、委員の先生方から、NRT学力検査をもとに、小中連携を意識して「つきたい力」を教科ごとに明らかにして提案するとともに、各校での学力向上の取り組みについて実践発表をしていただき、各校での学習指導や指導改善に役立てることができた。</p>

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	28年度からの第6次市振興計画・第2次市教育振興計画の実施に伴い、これらの計画とも密接に関連させながら、寒河江市の学校教育に関する課題の解決に教育研究所がより一層寄与できるようにしていく。そのために、学力向上やいじめ・不登校対策、問題行動への対応、特別支援教育の充実等、本市の学校教育に関する課題の解決につながるよう、特に「研修部」の在り方について見直し・検討を進めていく。

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	理科教育センター運営事業	所管課・係	学校教育課 指導推進室 指導係
施策体系	Ⅱ 郷土を愛し、次代を担う意欲ある人づくり	予算科目	10 教育費
教育振興計画	2 児童生徒の学ぶ力を育むまちづくり		1 教育総務費
			3 理科教育センター費

2. 事業の概要

事業目的	小中学校における理科教育の充実と、教員の資質向上を図る。
事業内容	寒河江市理科教育センターを設置し、理科教育に関する調査研究、研修、備品器具類の貸し出し、会報の発行等を行う。

3. 予算額・決算額

						(単位:千円 千円未満切上げ)	
当初予算額	150	補正額等		合計	150	決算額	142

4. 事業の実施状況

○運営委員・所員合同会の開催 (5月・2月)	
○研修活動の実施	(参加状況: 所員研修14名・小3年研修15名・小4・5年合同研修18名・小6研修13名・中学校研修3名)
○調査研究	(指導案・小中理科大会要項等の情報収集)
○備品器具の貸し出し	(理科センター備品・教材貸出)
○所報の発行	(3月発行 第51号)

5. 事業の評価

<p>本年度は、小学校3年の「電気と磁石」、小学校4年の「ものあたままり方」、小学校5年の「燃料電池自動車」、小学校6年の「電気」と「てこ」についての研修が行われ、授業にすぐに活用できる教材や理科の楽しさを子どもたちに感じさせることができる観察実験などが紹介された。また、中学校の研修会では、3校の教員が授業のあり方や教材、実験観察方法などについて情報交換が行われた。参加した教員が、理科の楽しさやおもしろさなどを感じながら研修を深めており、研修で得られた成果は、日々の理科の授業改善に生かされている。</p>

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	自ら自然にはたらしかけ、実感・納得し、自然を豊かに感じる子ども育成していくために、理科教育センターが担う役割や今後の期待はますます大きいものとなっている。今後も、教員の研修ニーズや標準学力検査や全国学力・学習状況調査における分析結果を踏まえ、それに応える研修内容を企画・実施していく。

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	外国語指導助手招致事業	所管課・係	学校教育課 指導推進室 指導係
施策体系	I 美しく豊かでたくましい心、元気な身体を育む人づくり	予算科目	10 教育費
教育振興計画	6 国際化に対応したまちづくり	項	1 教育総務費
		目	3 教育指導援助費

2. 事業の概要

事業目的	市内小学校の外国語活動や、中学校の外国語の学習を充実させるとともに、児童生徒の国際感覚を育む。
事業内容	外国語指導助手(ALT)を2名配置する。各小中学校への派遣により、授業やその他の教育活動の場面で、協働で授業を行うなど、指導の補助を務めるほか、教員の研修においても活用する。

3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	1,092	補正額等		合計	1,092	決算額	947
-------	-------	------	--	----	-------	-----	-----

4. 事業の実施状況

2名のALTを市内13小・中学校に学期ごと派遣計画を立て、小学校の外国語活動・中学校の外国語学習の支援を行った。	
(1)ALTの派遣(のべ回数)	①小学校 1学期110回、2学期107回、3学期 68回、計285回 ②中学校 1学期 26回、2学期 26回、3学期 14回、計 62回

5. 事業の評価

ALTの派遣計画については、これまでと同様に、小学校においては曜日ごとに学校を固定して、中学校においては学習内容に応じて希望した日に派遣するようにした。小学校では、高学年の外国語活動だけでなく、低中学年の英語に慣れ親しむ学習活動を各学校で行ってきた。また中学校では、英語弁論大会に向けた指導も担当した。 昨年度から継続して任用していることもあり、年度始めからスムーズに事業を進めることができた。また、年2回のALT担当者会を開催して、各学校担当者から活用状況や要望等を拾い上げ、以後の事業に反映させた。

6. 今後の対応等

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	28年度からの第6次市振興計画・第2次市教育振興計画を受け、小学校中学年への外国語活動の導入、高学年における英語の教科化、中学校の英語学習の充実に対応した事業を展開していく。小学校低学年段階からの英語に慣れ親しむ活動や英語学習を一層推進していくために、ALTを1名増員して3名体制にし、中学校区ごとにALTを配置する。(H28予算 4,006千円)

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	教育相談事業	所管課・係	学校教育課 指導推進室 指導係
施策体系	Ⅱ 郷土を愛し、次代を担う意欲ある人づくり 2 児童生徒の学ぶ力を育むまちづくり	予算科目	10 教育費 1 教育総務費 3 教育指導援助費

2. 事業の概要

事業目的	不登校をはじめとする学校や保護者からの教育相談に対応するとともに、不登校児童生徒の学校への復帰を図る。
事業内容	教育相談室に教育相談員3名を配置し、学校教育や家庭生活全般にわたる相談に対応するとともに、不登校の原因把握に努める。 また、不登校児童生徒の学校復帰のための適応指導教室「寒陵スクール」を開設する。

3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	4,263	補正額等		合計	4,263	決算額	3,637
-------	-------	------	--	----	-------	-----	-------

4. 事業の実施状況

(1) 教育相談室の概要
① 相談員の配置：教育相談員3名(うち、訪問相談員2名)
② 相談の件数： ○学 校 来室相談 76件、電話相談 295件、学校訪問 57件 ○保護者 来室相談 250件、電話相談 462件、家庭訪問 136件
(2) 寒陵スクールの概要(教育相談員が運営)
① 在籍児童生徒：計13名(小学生1名、中学生12名…うち市外中学生1名)
② 開設日数：211日(勤労青少年ホーム：190日 フローラ・SAGAE：20日 市立図書館：1日)
③ その他：長期休業中の学習(4日)、体験活動(遠足・調理実習・クリスマスリース作り)、個人面談、保護者懇談会を実施

5. 事業の評価

<p>年度末に集計した不登校による年間30日以上欠席者は、小学生2名(前年度6名)、中学生45名(前年度37名)と、前年度に比べて小学生は減少しているものの、中学生は増加しており、不登校傾向の児童生徒への対応・支援と未然防止の取組が急務である。</p> <p>寒陵スクールについては、2名の児童生徒が学校に復帰することができた。また、寒陵スクールや学校への登校が増える、志望する高校に進学する等、成果が全員に見られた。また、訪問相談を行った4名の生徒についても、相談を通して本人や保護者の心の安定を図り、寒陵スクールや学校への出席につながるなどの成果が見られた。</p> <p>教育相談については、本人の抱える問題に起因するものだけでなく、家庭の問題に起因するものが年々増加している。保護者や教員からの相談に対し、内容によっては子育て推進課や子ども家庭支援センターなど、福祉部局や外部の専門機関などと連携しながら対応を行った。</p>

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	不登校児童生徒を減少させることは、本市の大きな教育課題の一つである。寒陵スクールの新たなパンフレットを作成して各学校に配布し、周知に努めてきた。寒陵スクールや訪問相談により、好ましい方向に変化した児童生徒が多いことから、今後も教育相談機能の充実を図っていく。また、各学校の不登校予防担当者や教育相談担当者、特別支援教育コーディネーター、福祉部局や外部の専門機関、新たに配置される家庭教育支援のためのスクールソーシャルワーカー等と連携した対応をより進めていく。

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	学習補助員配置事業	所管課・係	学校教育課 指導推進室 指導係
施策体系	Ⅱ 郷土を愛し、次代を担う意欲ある人づくり	予算科目	10 教育費
教育振興計画	2 児童生徒の学ぶ力を育むまちづくり	項	1 教育総務費
		目	3 教育指導援助費

2. 事業の概要

事業目的	個別指導が必要な児童生徒への支援を行い、教育活動の充実を図る。
事業内容	通常学級における個別の指導が必要な児童生徒や、特別支援学級における特別な配慮が必要な児童生徒等に対し、学習補助員を配置し、個に応じたきめ細やかな支援を行う。

3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	17,073	補正額等		合 計	17,073	決算額	16,995
-------	--------	------	--	-----	--------	-----	--------

4. 事業の実施状況

(1) 配置校	寒河江小(3名)、寒河江中部小(3名)、南部小(1名)、西根小(2名)、柴橋小(2名)、高松小(1名)、醍醐小(1名)、白岩小(1名)、三泉小(2名)、陵東中(2名)、陵南中(2名)、陵西中(1名) 計12校(21名)
(2) 業務内容	学級担任を補助し、個別支援が必要な児童生徒への学習・生活上の支援を行う ① 通常学級における、個別の支援が必要な児童生徒への対応 ② 特別支援学級における、障がいの重い児童生徒や多人数の児童生徒への対応
(3) 勤務体制	年間200日程度(授業日)、学校の実情に応じて4~6時間の勤務

5. 事業の評価

	<p>県の講師加配や学級編制の状況を考慮しながら、それぞれの学校が抱える課題に適切に対応できるよう補助員を配置した。</p> <p>また、各学校では、特別支援学級の児童生徒に対する学習・生活支援、通常学級で特別な支援を必要とする児童生徒への学習・生活支援、取り出しによる学習支援など、配置された補助員をそれぞれの状況に応じて効果的に活用してきた。発達障がいの傾向をもつ児童生徒が落ち着かない時や、授業中に席を離れた時などにも、補助員から適切に対応してもらっており、本人の心の安定を図るだけでなく、周囲の児童生徒が落ち着いて学習や生活に臨むことにもつなげることができている。</p>
--	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

6. 今後の対応等

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	通常学級における特別な支援が必要な児童生徒は年々増加傾向にあり、その対応が各学校で課題となっている。今後も、県による講師加配や学級編制の状況を踏まえ、各学校が抱える課題の解決につながるよう、補助員を適正に配置するとともに、学校の状況に応じて、勤務時間を増やして対応にあたる。また、補助員を配置した効果をより高めるために、学校と情報を共有しながら、本市の課題の一つである学力の向上につながる効果的な活用を進めていく。(H28予算 17,769千円)

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	障害児通学支援事業	所管課・係	学校教育課 学事係
施策体系 教育振興 計画	II 郷土を愛し、次代を担う意欲ある人づくり 2 児童生徒の学ぶ力を育むまちづくり	予算 科目	10 教育費 1 教育総務費 3 教育指導援助費

2. 事業の概要

事業目的	障がいにより自力通学が困難で、かつ保護者による送迎も困難な特別支援学級児童生徒の学習参加の利便向上と保護者の負担軽減を図る。
事業内容	登校時または下校時のタクシー送迎を市内タクシー会社に委託し、通学支援を行う。

3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	1,446	補正額等		合計	1,446	決算額	898
-------	-------	------	--	----	-------	-----	-----

4. 事業の実施状況

(1) 実施	登校時または下校時のタクシー送迎による通学支援
(2) 利用状況	小学校 : 3校、5名、延べ 536回 中学校 : 2校、3名、延べ 441回 合計 : 5校、8名、延べ 977回

5. 事業の評価

家庭、学校及びタクシー会社が連携し、各児童生徒に応じた支援体制を整えたことで、障がいのある児童生徒の就学の適正化が図られ、保護者の負担軽減に繋がった。 平成24年度から登校時か下校時かを選択できるようにしたことで利用拡大が図られたが、往復の支援を望む声がある。

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	保護者から登下校往復での支援を望む声があるため、検討しながら継続する必要がある。

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	小中学校ICT活用支援事業	所管課・係	学校教育課 学事係
施策体系 教育振興計 画	II 郷土を愛し、次代を担う意欲ある人づくり 2 児童生徒の学ぶ力を育むまちづくり	予算科目	10 教育費 1 教育総務費 3 教育指導援助費

2. 事業の概要

事業目的	ICT活用支援員が小中学校を巡回してパソコン等ICTを活用した教育活動について支援を行い、小中学校のICT活用に係る教育を推進する。
事業内容	小中学校におけるICTを活用した授業及び校務処理を円滑に進めるため、ICT活用支援員が小中学校を巡回して児童生徒及び教職員に対する支援活動を行う。

3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	3,600	補正額等		合計	3,600	決算額	3,564
-------	-------	------	--	----	-------	-----	-------

4. 事業の実施状況

ICT活用支援員1名が、延べ207日小中学校を巡回して児童生徒及び教職員に対する支援活動を行った。

5. 事業の評価

平成25年度に緊急雇用創出事業でICT支援員が配置されてから、機器のメンテナンスやソフト活用の技術的支援のために各小中学校を定期的に巡回してICT活用に伴う準備の負担軽減や技術指導を行ってきたことで、教職員のICTに関する知識や活用技術が向上してきている。

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	ICT機器に関する教職員の知識や活用技術は向上してきているが、教職員がICT活用に関する業務すべてに対応することは困難であり学校からは支援員の継続を望む声が多いため、平成29年度以降の拡充を検討していく。

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	就学援助事業(小学校)	所管課・係	学校教育課 学事係
施策体系	II 郷土を愛し、次代を担う意欲ある人づくり	予算科目	10 教育費
教育振興計画	1 発達に応じた学びを育むまちづくり	項	2 小学校費
	2 児童生徒の学ぶ力を育むまちづくり	目	3 教育振興費

2. 事業の概要

事業目的	要保護・準要保護児童及び特別支援学級児童の保護者に対し、就学に要する費用の援助を行い、当該児童の就学機会の確保を図る。
事業内容	学用品費、通学用品費、修学旅行費、校外活動費、給食費及び医療費等を支給し、就学を援助する。

3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	12,485	補正額等		合計	12,485	決算額	11,657
-------	--------	------	--	----	--------	-----	--------

4. 事業の実施状況

(1) 要保護・準要保護児童就学援助費の支給	対象児童 : 178名	金額	10,512,636円
(2) 特別支援教育就学奨励費の支給	対象児童 : 36名	金額	1,144,086円

5. 事業の評価

<p>経済的理由によって就学が困難と認められる児童が増加しており、学用品など就学に必要な経費について支援する本事業の意義は大きなものとなっている。 また、支給費目の拡充を望む声がある。</p>

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	<p>学校教育法及び学校保健安全法を遵守し、就学に要する費用の援助を行う。 要保護・準要保護児童就学援助費について、学校給食費の支給額が国の基準額(要保護)より低いことから検討を重ね、対象世帯の経済状況を的確に評価して適正な就学支援を実施していく。</p>

事務事業点検・評価調査

1. 事業名等

事業名	就学援助事業(中学校)	所管課・係	学校教育課 学事係
施策体系	II 郷土を愛し、次代を担う意欲ある人づくり	予算科目	10 教育費
教育振興計画	1 発達に応じた学びを育むまちづくり	項	3 中学校費
	2 児童生徒の学ぶ力を育むまちづくり	目	3 教育振興費

2. 事業の概要

事業目的	要保護・準要保護生徒及び特別支援学級生徒の保護者に対し、就学に要する費用の援助を行い、当該生徒の就学機会の確保を図る。
事業内容	学用品費、通学用品費、修学旅行費、校外活動費、給食費及び医療費等を支給し、就学を援助する。

3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	11,581	補正額等		合計	11,581	決算額	11,150
-------	--------	------	--	----	--------	-----	--------

4. 事業の実施状況

(1) 要保護・準要保護生徒就学援助費の支給	対象生徒 : 114名	金額 10,498,822円
(2) 特別支援教育就学奨励費の支給	対象生徒 : 15名	金額 650,899円

5. 事業の評価

<p>経済的理由によって就学が困難と認められる生徒が増加しており、学用品など就学に必要な経費について支援する本事業の意義は大きなものとなっている。 また、支給費目の拡充を望む声がある。</p>

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	<p>学校教育法及び学校保健安全法を遵守し、就学に要する費用の援助を行う。 要保護・準要保護生徒就学援助費について学校給食費の支給額が国の基準額(要保護)より低いことから検討を重ね、対象世帯の経済状況を的確に評価して適正な就学支援を実施していく。</p>

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	学校給食事業(小学校)	所管課・係	学校教育課 学事係
施策体系 教育振興 計 画	I 美しく豊かでたくましい心、元気な身体を育むまちづくり	予算 科目	10 教育費
	4 いのちと心を育む食育を推進するまちづくり		2 小学校費
			2 学校保健費

2. 事業の概要

事業目的	学校給食を実施することにより、児童の心身の健全な発達に資するとともに、食に関する正しい理解と適切な判断力を養う。
事業内容	全小学校において自校調理方式による完全給食を実施する。

3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	38,668	補正額等	201	合計	38,869	決算額	37,729
-------	--------	------	-----	----	--------	-----	--------

4. 事業の実施状況

<p>(1)「さがえ食育の日」に合わせ、給食を生きた教材として各学校で食育指導を行い、食に対する正しい知識や望ましい食習慣を育てた。</p> <p>(2)「郷土料理・特産物を味わおう」という給食目標を掲げて献立を作成し、食文化や伝統的な郷土料理の継承に努めた。</p> <p>(3)米や野菜の栽培・収穫活動など体験を通じた食育を推進し、食べ物の大切さや生産者への感謝の気持ちを育てた。</p> <p>(4)給食だより等で地場農産物を使用した給食を紹介したり、給食レシピを保護者や地域の方に配布したりして、地場農産物の積極的な利用を働きかけた。</p> <p>(5)各種会議・研修会の開催 献立作成会議、調理師研修会(市内・市外)、給食主任会、調理師・給食主任合同研修会の開催</p> <p>(6)給食用消耗品及び備品の更新</p> <p>(7)放射性物質検査の実施</p>

5. 事業の評価

<p>平成26年度から実施している小中学校統一メニューが小中学校それぞれにおいて新しい献立の作成につながり、また、小学校から中学校に進む児童も違和感なく中学校給食に馴染んでいるようである。</p> <p>栄養士、栄養教諭及び調理師合同の研修会等を充実させたことで、栄養バランスのとれたおいしい給食が安定して提供され、健康の保持増進や望ましい食習慣の形成、伝統的な食文化の理解に繋がってきている。</p>

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	<p>寒河江産農産物の利用拡大のため平成28年度から寒河江産農産物を使用したカット野菜の商品化を進めていく。</p> <p>寒河江市における児童の肥満が問題になってきているため、各学校の養護教諭と連携しながら食に関する正しい知識と望ましい食習慣を段階的に身に付けることができるように指導していく。</p> <p>様々なアレルギーを持つ児童が増えており、これまで以上に衛生及び安全管理の徹底が必要となってくるため、平成28年度に小学校給食における食物アレルギー対応マニュアルの改訂を行う。</p>

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	学校給食事業(中学校)	所管課・係	学校教育課 学事係
施策体系 教育振興計 画	I 美しく豊かでたくましい心、元気な身体を育むまちづくり	予算科目	10 教育費
	4 いのちと心を育む食育を推進するまちづくり		3 中学校費
			2 学校保健費

2. 事業の概要

事業目的	中学校給食を実施することにより、成長期にある中学生に安全安心で栄養バランスのとれたおいしい食事を提供し心身の健全な発達に資するとともに、それを生きた教材として活用し食育の充実を図る。
事業内容	全中学校において民設民営による給食センター方式で完全給食を実施する。

3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	178,401	合計	178,401	決算額	177,886
-------	---------	----	---------	-----	---------

4. 事業の実施状況

<p>(1)「さがえ食育の日」に合わせ、給食を生きた教材として各学校で食育指導を行い、食に対する正しい知識や望ましい食習慣を育てた。</p> <p>(2)「郷土料理・特産物を味わおう」という給食目標を掲げて献立を作成し、食文化や伝統的な郷土料理の継承に努めた。</p> <p>(3)生産者との交流給食を実施し、生産者と生徒との結び付きを強めた。</p> <p>(4)給食日より等で地場農産物を使用した給食を紹介したり、給食レampiを保護者や地域の方に配布するなど、地場農産物の積極的な利用を働きかけた。</p> <p>(5)各種会議・研修会の開催 献立作成会議、調理師研修会(市内・市外)、給食主任会、調理師・給食主任合同研修会の開催</p> <p>(6)放射性物質検査の実施</p>

5. 事業の評価

<p>平成26年度から実施している小中学校統一メニューが小中学校それぞれにおいて新しい献立の作成につながり、また、小学校から中学校に進む児童も違和感なく中学校給食に馴染んでいるようである。</p> <p>栄養士、栄養教諭及び調理師合同の研修会等を充実させたことで、栄養バランスのとれたおいしい給食が安定して提供され、健康の保持増進や望ましい食習慣の形成、伝統的な食文化の理解に繋がってきている。</p> <p>JA及び野菜生産者との給食用農産物に関する会議を定期的に開催したことが、寒河江産農産物の利用率の向上に繋がった。</p> <p>野菜生産者と生徒との交流給食や国の交付金を利用したさがえのごっつお給食(年6回)の実施により、生徒だけでなく保護者についても地元農産物に対する理解や食に対する関心が高まってきているようである。</p>

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	<p>寒河江産農産物の利用拡大のため平成28年度から寒河江産農産物を使用したカット野菜の商品化を進めていく。</p> <p>寒河江市における生徒の肥満が問題になってきているため、各学校の養護教諭と連携しながら食に関する正しい知識と望ましい食習慣を段階的に身に付けることができるように指導していく。</p> <p>様々なアレルギーを持つ児童が増えており、これまで以上に衛生及び安全管理の徹底が必要となってくるため、平成28年度に中学校給食における食物アレルギー対応マニュアルの改訂を行う。また、中学校入学時に重篤なアレルギーを持つ生徒の保護者と面談を行っているが、小学校での自校給食と異なり、中学校は給食センター方式での提供になるため制限が多く、保護者の理解を得られるような対応を検討していく。</p>

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	市史編纂事業	所管課・係	生涯学習課 歴史文化係
施策体系 教育振興計 画	Ⅲ 歴史と文化を活かし、新たな文化を育む人づくり	予算科目	10 教育費
	1 歴史と伝統文化を活かしたまちづくり		4 社会教育費
			8 市史編纂費

2. 事業の概要

事業目的	市史編纂専門員を配置し、歴史資料の収集、調査を行い、寒河江市の歴史と文化を後世に伝えいく。
事業内容	古文書等郷土資料の収集、解説、研究及び、市史の編集発刊を行う。

3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	8,427	補正額等		合計	8,427	決算額	7,745
-------	-------	------	--	----	-------	-----	-------

4. 事業の実施状況

<p>(1) 市史編纂委員会 8月12日 文化センター 出席委員8名 市史別編の編集・発刊等協議 (2) 寒河江市史別編「民俗・生活編」の発刊 (3) 郷土資料展の開催「江戸時代の米沢村」6月23日～7月12日 会場:図書館 (4) 市史編纂だよりの市報掲載 毎月5日号 (5) 歴史文化活動推進員による、市内の石造文化財調査の実施</p>

5. 事業の評価

<p>市史編纂事業計画に基づき、市史別編「民俗・生活編」の執筆原稿の編集作業を進めて発刊した。また郷土資料展の開催は、米沢地区の歴史を知る機会となり、市民の歴史文化への関心を深め郷土史学習に資するものとなり、本市の歴史と文化を後世に伝える役割を果たしている。</p>

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	<p>市史編纂委員会において策定した、市史編纂事業計画に基づいて発刊事業を進めていく。 また、地域の歴史資料を調査研究し、郷土資料展などで研究成果を公表し、寒河江市の歴史と文化を後世に伝えていくとともに、市民の郷土理解を深め、郷土愛を醸成する。 平成28年度は、市史編纂叢書第85集・第86集を発刊する。</p>

事務事業点検・評価調査

1. 事業名等

事業名	埋蔵文化財調査事業費	所管課・係	生涯学習課 歴史文化係
施策体系 教育振興計画	Ⅲ 歴史と文化を活かし、新たな文化を育む人づくり	予算科目	10 教育費
	1 歴史と伝統文化を活かしたまちづくり		4 社会教育費
			9 歴史文化費

2. 事業の概要

事業目的	埋蔵文化財の調査・保存を図るとともに、歴史と文化を尊び文化財に対する市民の意識の高揚を図る。
事業内容	文化財保護法に基づき市内遺跡の調査等を行い、報告書を作成するとともに、「埋蔵文化財フェア」を開催する。

3. 予算額・決算額

当初予算額	2,176	補正額等	588	合計	2,764	決算額	2,704
-------	-------	------	-----	----	-------	-----	-------

(単位:千円 千円未満切上げ)

4. 事業の実施状況

<p>(1) 埋蔵文化財フェア「阿部祥人氏と旧石器遺跡」 8月12日～9月6日 市美術館 543人 (2) 同上講演会 8月23日 慶應義塾大学文学部准教授 渡辺文彦氏「阿部祥人先生と旧石器遺跡」 約70人 (3) 慈恩寺上の寺遺跡発掘調査 11月30日～12月1日 (4) 白岩城新楯跡発掘調査 12月1日～10日 (5) 市内試掘調査 日和田遺跡 4月20日～24日 旧竹内坊屋敷跡 10月18日</p>

5. 事業の評価

<p>慈恩寺上の寺遺跡や白岩城新楯跡の調査を実施し、新たな資料等を得ることができた。日和田遺跡の試掘調査では遺跡の範囲を特定できるなど開発との調整に資することができた。 また、埋蔵文化財フェアでは、本市出身で元・慶應義塾大学教授の阿部祥人氏にまつわる展示をし、市民の考古・歴史学習に資した。多くの市民だけでなく、県内外から見学に訪れ、寒河江・西村山の豊かな歴史に対する認識が高まり、市民に誇りと自信を付与する目的が達せられた。</p>

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	引き続き埋蔵文化財の発掘調査を行うとともに、遺跡の価値について、市民に広く周知していく。また、史跡慈恩寺旧境内と白岩城解明のためにも、今後も計画的に発掘調査を行っていく。

事務事業点検・評価調査

1. 事業名等

事業名	郷土館保存事業	所管課・係	生涯学習課 歴史文化係
施策体系 教育振興 計画	Ⅲ 歴史と文化を活かし、新たな文化を育む人づくり	予算 科目	10 教育費
	1 歴史と伝統文化を活かしたまちづくり		4 社会教育費
			9 歴史文化費

2. 事業の概要

事業目的	県指定有形文化財である、旧西村山郡役所・郡会議事堂の保存を図るとともに、郷土の歴史資料展示施設として、市民の郷土学習活用を図る。
事業内容	(1) 郷土館の維持管理 (2) 資料館として一般開放 (3) 郷土館特別展「寒河江の絵図」の開催

3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	1,932	補正額等		合計	1,932	決算額	1,797
-------	-------	------	--	----	-------	-----	-------

4. 事業の実施状況

<p>(1) 県指定文化財である建物の維持管理 施設維持管理等業務委託(10件) 1,460,773円</p> <p>(2) 郷土館一般公開 4月11日～11月8日の土・日・祝日(4月20日～5月29日桜・つつじ祭り期間) 入館者数1,774人 郷土学習対応 6月12日柴橋小学校 6月16日高松小学校 9月24日寒河江中部小学校 10月3日東部地区公民館 10月21日・22日南部小学校 3月8日さくらぼ観光課(西村山広域観光戦略推進事業)</p> <p>(3) 郷土館企画展「新収蔵資料展」の開催 4月18日～9月13日 旧西村山郡役所2階 入館者名1340名</p> <p>(4) 郷土館特別展の開催「寒河江の絵図展」 9月18日～10月12日 入館者370名</p> <p>(5) 同上記念講演 講師:市史編纂専門員宇井啓氏 参加者:30名</p> <p>(6) 郷土館運営協議会の開催 9月16日 文化センター 4名 H26事業報告・H27事業計画等</p> <p>(7) 安孫子春悦氏こけしコレクション常設展示</p>

5. 事業の評価

<p>施設維持管理等の業務により、県指定有形文化財である建物の適正な維持管理に努めた。 市史編纂専門員の歴史調査活動による特別展「寒河江の絵図」では、市内各地のかつての様子を知る機会となり、市内の歴史や景観について理解を深め、郷土史学習に資するものとなった。 市民や小学校児童の郷土学習の場として、有効に活用されている。</p>

6. 今後の対応等

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	<p>県指定有形文化財である建物を適正に保存していくとともに、引き続き特別展・企画展を開催し、市民の生涯学習施設としての機能の充実を図り、また観光客の受入や集客率の向上に努める。 H28予算 8,178千円 旧西村山郡役所 保存修理(壁塗替え)</p>

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	史跡慈恩寺旧境内総合調査事業	所管課・係	生涯学習課 歴史文化係
施策体系	Ⅲ 歴史と文化を活かし、新たな文化を育む人づくり 1 歴史と伝統文化を活かしたまちづくり	予算科目	10 教育費 4 社会教育費 9 歴史文化費

2. 事業の概要

事業目的	国史跡として指定された慈恩寺文化の研究と、市民への周知を図り、地域の活性化を図る。 保存活用計画策定に向けた、調査・研究等。
事業内容	(1) 慈恩寺旧境内保存活用計画策定委員会の開催 (2) 慈恩寺行事研究会・講演会の開催 (3) 慈恩寺文化財調査 (4) 山業地区活用調査 (5) 国史跡「慈恩寺旧境内」広報・普及

3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	4,300	補正額等		合計	4,300	決算額	3,935
-------	-------	------	--	----	-------	-----	-------

4. 事業の実施状況

(1) 慈恩寺旧境内保存活用計画策定委員会の開催	6月30日 文化センター 委嘱書交付及び保存活用計画策定の方針について 9月8日 慈恩寺旧境内現地 史跡内のブロック区分について 11月10日 山業地区 山業地区現地視察	11月6日 文化センター 保存活用計画書内容について 1月26日 文化センター 保存活用計画書内容について
(2) 慈恩寺講演会・行事研究会の開催	7月4日 文化センター 第2回慈恩寺講演会「はじめての仏像」 3月5日 文化センター 慈恩寺行事研究会「中世寺院について」	11月22日 文化センター 第3回慈恩寺講演会「はじめての仏教」
(3) 慈恩寺文化財調査	2月1日 慈恩寺堂社等建造物研究委託 2月24日 仏像調査 3月17~23日 山道御堂調査	2月5日 周辺区域植生データ委託 2月26日 山王台一肥前楯間山道地形地質調査 3月20~21日 本堂墨書調査
(4) 山業地区活用調査	10月28日 山業地区細部地形実測図化業務委託 11月16日 山業地区活用調査	2月8日~ 最上院日記解読 3月7~16日 本堂仏具調査 3月24~25日 太郎白山社等調査
(5) 国史跡「慈恩寺旧境内」広報・普及	10月31日 修験の道ウォーキング 年6回 事業広報誌「慈恩寺Times」の発刊 3月 パンフレットの作成「国史跡慈恩寺旧境内」	

5. 事業の評価

<p>史跡「慈恩寺旧境内」の保存活用計画策定に向けて、5回策定委員会を開催した。委員会では史跡の重要な構成要素などについて話し合った。28年度も検討を重ね、保存活用計画を策定する予定である。</p> <p>また、今後の史跡活用に向けて、各種調査を行った。調査により、江戸時代初期の古文書・仏具などが多数発見され、慈恩寺の長い歴史を再確認することができた。</p> <p>さらに、修験の道ウォーキングや慈恩寺Timesの発行など、市民に史跡「慈恩寺旧境内」を広報・普及させる事業を行い、市民の慈恩寺理解に資するものとなった。</p>

6. 今後の対応等

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	<p>平成28年度に保存活用計画、平成29年度に整備計画を策定する上で、引き続き調査・研究が必要である。慈恩寺「悠久の魅力」向上基本計画や、関係者等との連携を図り、慈恩寺文化財の保存・活用について事業を遂行していく。</p> <p>ガイダンス施設整備については、国・県等と調整しながら、早期実現に向けて進めていく。</p> <p style="text-align: right;">H28予算 5,390千円 保存活用計画書</p>

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	教育委員会事務局管理事業	所管課・係	学校教育課 教育総務係
施策体系 (教育振興計画)	V 開かれた教育行政の推進 1 教育行政に対する関心、意識の高揚	予算科目	10 教育費
		款	1 教育総務費
		項	2 事務局費

2. 事業の概要

事業目的	教育委員会事務局(学校教育課)の総務一般に関する事務を処理する。
事業内容	(1) 教育委員会規則等の制定及び改廃に関する事務 (2) 教育功労、叙勲等に関する事務 (3) 教育委員会の事務事業の点検・評価に関する事務 (4) 学校基本調査等各種調査に関する事務 (5) その他学校教育課内の庶務に関する事務

3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	4,045	補正額等		合計	4,045	決算額	3,499
-------	-------	------	--	----	-------	-----	-------

4. 事業の実施状況

<p>(1) 教育委員会規則等の制定及び改廃については、総務課法制担当と協議しながら調整し、教育委員会の議決を経て公布した。 ・規則及び規程の制定又は改正 6件</p> <p>(2) 教育功労、叙位叙勲に関する処理実績 ・生存者叙勲 3件</p> <p>(3) 教育委員会が執行した事務事業(平成26年度分)の点検・評価を実施し、その結果に関する報告書を市議会に提出するとともに、市ホームページ等において公表した。</p> <p>(4) 学校基本調査、地方教育費調査、学校施設台帳作成等各種調査事務を執行した。</p> <p>(5) 平成26年度末で市内の小中学校を最終勤務地として退職した教職員8名に対し、市長より感謝状を贈呈した。</p> <p>(6) 寒河江市総合教育会議の開催 ※平成27年度は3回開催</p> <p>(7) 第2次寒河江市教育振興計画の策定</p>

5. 事業の評価

<p>(1) 教育委員会規則の改正等、教育功労・叙位叙勲の処理、各種調査事務その他課内の庶務に関する事務については総じて適切に処理している。</p> <p>(2) 教育事務の点検・評価について、外部評価委員が直接事務担当者からヒアリングすることにより、より適切な意見をいただくことができた。</p> <p>(3) 寒河江市総合教育会議を3回開催し、教育等の振興に関する大綱の制定や教育に関する施策等について市長と教育委員会が協議・調整を行い、相互の連携が一層図られた。</p> <p>(4) 新たに第2次寒河江市教育振興計画を策定し、ふるさと寒河江から夢のある未来を切り拓いていくたくましい人づくりを目指して、平成37年度を目標年度とした本市の基本的な教育施策を示すことができた。</p>

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	寒河江市総合教育会議については、会議の進め方や協議内容等をよく吟味し、市長と教育委員会の連携がより一層図られるように進めていく。

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	小学校管理事業	所管課・係	学校教育課 教育総務係
施策体系	V 開かれた教育行政の推進	予算科目	10 教育費
教育振興計 画	2 教育環境の充実・整備	項	2 小学校費
		目	1 学校管理費

2. 事業の概要

事業目的	小学校児童の教育環境の充実と安全安心な学校づくりを推進するため、小学校施設・設備の整備を行う。
事業内容	小学校施設・設備の整備、営繕及び維持管理

3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	126,803	補正額等	48,830	合計	175,633	決算額	125,595
-------	---------	------	--------	----	---------	-----	---------

4. 事業の実施状況

<p>校舎、体育館、水泳プール、グラウンド等の施設・設備の適正な管理と効率的な使用を図るため、当該施設設備の整備、営繕及び維持管理を実施した。</p> <p>(1) 学校施設の保守等のための業務委託 ① FF暖房機点火試験・点検清掃業務委託 外66件</p> <p>(2) 学校施設の修繕 ① 西根小学校女子トイレ配管漏水修理 外113件</p> <p>(3) 学校施設の整備 ① 柴橋小、幸生小学校トイレ洋式化改修工事 ② FF暖房機更新工事 外33件 ③ 非構造部材耐震化実施設計監理業務委託</p> <p>(4) 学校管理用備品の整備 ① 児童用椅子や清掃用具等を整備した。</p>

5. 事業の評価

<p>(1) トイレ洋式化の促進について、教室棟各トイレの大便器1ヶ所の洋式化改修が全小学校で完了し、生活様式や怪我への対応が可能となった。</p> <p>(2) 文科省が推進する体育館照明器具等の落下防止対策について、計画を前倒しで実施したことで整備促進が図られた。 (実施設計完了・工事は明許繰越)</p>

6. 今後の対応等

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	<p>(1) 老朽化した施設が増加する中、安全性を最優先として、計画的な施設整備を進めていく。</p> <p>(2) トイレの洋式化については、3カ年計画で女子児童が使用する各トイレの洋式便器の増設を進め、快適な学習環境の整備に努めていく。 (H28予算 170,964千円)</p>

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	中学校管理事業	所管課・係	学校教育課 教育総務係
施策体系 教育振興計 画	V 開かれた教育行政の推進 2 教育環境の充実・整備	予算科目	10 教育費 3 中学校費 1 学校管理費

2. 事業の概要

事業目的	中学校生徒の教育環境の充実と安全安心な学校づくりを推進するため、中学校施設・設備の整備を行う。
事業内容	中学校施設・設備の整備、営繕及び維持管理

3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	83,920	補正額等	53,900	合計	137,820	決算額	105,629
-------	--------	------	--------	----	---------	-----	---------

4. 事業の実施状況

<p>校舎、体育館、水泳プール、グラウンド等の施設・設備の適正な管理と効率的な使用を図るため、当該施設設備の整備、営繕及び維持管理を実施した。</p> <p>(1) 学校施設の保守等のための業務委託 ① 暖房用ボイラー清掃管理業務委託 外29件</p> <p>(2) 学校施設の修繕 ① 陵西中学校昇降口雨漏れ修理 外61件</p> <p>(3) 学校施設の整備 ① 陵西中学校暖房用ボイラー更新工事 ② 陵南・陵西中学校給食用ダムウェーター更新工事 外20件 ③ 非構造部材耐震化実施設計監理業務委託 ④ 中学校3年教室等空調設備整備実施設計業務</p> <p>(4) 学校管理用備品の整備 ① 生徒用椅子等を整備した。</p>

5. 事業の評価

<p>(1) 空調設備の充実について、3年生教室への整備に向けて実施設計を行い、事業拡大と促進につながった。</p> <p>(2) 安全安心な教育環境の整備について、陵南中学校擁壁改修や陵南・陵西中学校ダムウェーター更新など、安全面で優先すべき事案については、補正予算を確保して適時適切な整備を図ることができた。</p> <p>(3) 文科省が推進する体育館照明器具等の落下防止対策について、計画を前倒しで実施したことで整備促進が図られた。 (実施設計完了・工事は明許繰越)</p>

6. 今後の対応等

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	<p>(1) 老朽化した施設が増加する中、安全性を最優先として、計画的な施設整備を進めていく。</p> <p>(2) 3年生教室への空調設備整備に取り組み、子どもたちの健康や快適な学習環境の確保に努めていく。 (H28予算 62,485千円)</p>

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	学校保健事業(小学校)	所管課・係	学校教育課 学事係
施策体系	V 開かれた教育行政の推進 2 教育環境の充実・整備	予算科目	10 教育費 2 小学校費 2 学校保健費
教育振興計画			

2. 事業の概要

事業目的	児童及び教職員の健康管理、学習環境の適正維持を図る。
事業内容	児童及び教職員の健康保持管理のため各種検診を実施するとともに、適切な学習環境を維持するため、保健用備品、消耗品等の整備、日常検査及び定期検査等を行う。 また、災害共済給付制度、学校災害賠償補償保険に加入し、学校管理下での事故等に備える。

3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	18,811	補正額等	△ 60	合計	18,751	決算額	17,945
-------	--------	------	------	----	--------	-----	--------

4. 事業の実施状況

(1) 児童検診			
① 身体計測・内科・眼科・歯科各検診	2,279名	④ ぎょう虫卵検査	1,135名
② 耳鼻科検診	1,498名	⑤ 尿検査	2,278名
③ 心電図検査	371名	⑥ 貧血検査	395名
(2) 教職員検診			
① 一般検診	168名 (92.8%)		
② 大腸がん(40歳以上希望)	125名 (77.6%)		
③ 胃がん(40歳以上)	122名 (75.8%)		
※ 受診人数後の()内は受診率であり、100%に満たないのは、教職員共済組合等のドック受診者、継続受診(治療中)等を除いているためである。			
(3) 環境衛生検査(飲料水、プール水、照度、ダニアレルギー)			

5. 事業の評価

<p>児童及び教職員の健康維持増進と適切な学習環境の維持向上を図るため、学校保健安全法等に定める各種検診及び法令等に基づいた環境衛生検査を実施した。 なお、教職員検診における要精密検査該当者の精密検査受診状況は100%であり、健康意識も向上している。</p>

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	学校保健安全法を遵守し、児童及び教職員の各種検診を実施し健康維持増進を図るとともに、環境衛生検査を実施し学習環境の整備に繋げる。

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	学校保健事業(中学校)	所管課・係	学校教育課 学事係
施策体系	V 開かれた教育行政の推進 2 教育環境の充実・整備	予算科目	10 教育費 3 中学校費 2 学校保健費

2. 事業の概要

事業目的	生徒及び教職員の健康管理、学習環境の適正維持を図る。
事業内容	生徒及び教職員の健康管理増進のため各種検診を実施するとともに、適切な学習環境を維持するため、保健用備品、消耗品等の整備、日常検査及び定期検査等を行う。 また、災害共済給付制度、学校災害賠償補償保険に加入し、学校管理下での事故等に備える。

3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	8,795	補正額等		合計	8,795	決算額	8,183
-------	-------	------	--	----	-------	-----	-------

4. 事業の実施状況

(1) 生徒検診	
① 身体計測・内科・眼科・歯科各検診	1,257名
② 耳鼻科検診	555名
③ 心電図検査	434名
④ 尿検査	1,250名
⑤ 貧血検査	1,082名
(2) 教職員検診	
① 一般検診	88名(95.7%)
② 大腸がん(40歳以上希望)	54名(81.8%)
③ 胃がん(40歳以上)	47名(71.2%)
※ 受診人数後の()内は受診率であり、100%に満たないのは、教職員共済組合等のドック受診者、継続受診(治療中)等を除いているためである。	
(3) 環境衛生検査(飲料水、プール水、照度、ダニアレルゲン)	

5. 事業の評価

生徒及び教職員の健康増進と適切な学習環境の向上を推進するため、学校保健安全法等に定める各種検診及び法令等に基づいた環境衛生検査を実施した。 なお、教職員検診における要精密検査該当者の精密検査受診状況は100%であり、健康意識も向上している。

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	学校保健安全法を遵守し、生徒及び教職員の各種検診を実施し健康維持増進を図るとともに、環境衛生検査を実施し学習環境の整備に繋げる。

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	教育振興事業(小学校)	所管課・係	学校教育課 学事係
施策体系	V 開かれた教育行政の推進 2 教育環境の充実・整備	予算科目	10 教育費 2 小学校費 3 教育振興費

2. 事業の概要

事業目的	学習教材等の計画的な整備を進め、教育環境の充実を図る。
事業内容	学習活動に必要な教材教具、理科備品、図書の整備を行い、児童の適切な学習環境の整備を図る。

3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	31,864	補正額等	1,495	合計	33,359	決算額	31,707
-------	--------	------	-------	----	--------	-----	--------

4. 事業の実施状況

(1) 学習指導要領等に基づき、教材教具、理科備品の整備、図書等の整備を行い、学習環境の整備充実に努めた。	
① 教材教具、図書等一般事業	19,503 千円
② 理科教育振興設備整備事業	1,830 千円
(2) 教科書改訂に伴い、教師用教科書及び指導書を整備した。	
① 教師用教科書	1,246 千円
② 教師用指導書	11,736 千円

5. 事業の評価

各学校から要望のあった学習活動に必要な教材教具備品及び図書の整備を行ったことで、児童の適切な学習環境の整備が図られた。理科備品については、各学校から要望を出してもらい国庫補助制度を活用して整備を行ったことで、指導内容の充実に繋がった。

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	教材教具整備については出来る限り年度の早い時期に購入して、指導内容を充実させていく。

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	教育振興事業(中学校)	所管課・係	学校教育課 学事係
施策体系 教育振興計画	V 開かれた教育行政の推進	予算科目	10 教育費
	2 教育環境の充実・整備		3 中学校費
			3 教育振興費

2. 事業の概要

事業目的	学習教材等の計画的な整備を進め、教育環境の充実を図る。
事業内容	学習活動に必要な教材教具、理科備品、図書の整備を行い、生徒の適切な学習環境の整備を図る。

3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	11,069	補正額等		合計	11,069	決算額	10,532
-------	--------	------	--	----	--------	-----	--------

4. 事業の実施状況

(1)学習指導要領等に基づき、教材教具、理科備品の整備、図書等の整備を行い、学習環境の整備充実に努めた。

- ① 教材教具、図書等一般事業 4,266 千円
- ② 理科教育振興設備整備事業 1,077 千円

5. 事業の評価

各学校から要望のあった学習活動に必要な教材教具備品及び図書の整備を行ったことで、生徒の適切な学習環境の整備が図られた。
理科備品については、各学校から要望を出してもらい国庫補助制度を活用して整備を行ったことで、指導内容の充実に繋がった。

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	教材教具整備については出来る限り年度の早い時期に購入して、指導内容を充実させていく。

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	情報教育推進事業(小学校)	所管課・係	学校教育課	
			学事係	
施策体系	V 開かれた教育行政の推進	予算科目	款	10 教育費
教育振興計画	2 教育環境の充実・整備		項	2 小学校費
			目	3 教育振興費

2. 事業の概要

事業目的	情報機器やネットワーク機能の活用指導を通じて、情報化社会に対応できる人材の育成を図る。
事業内容	小学校における情報教育を円滑に行うことができるよう、パソコン機器や電子黒板の整備、充実を図る。

3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	18,325	補正額等	164	合計	18,489	決算額	18,405
-------	--------	------	-----	----	--------	-----	--------

4. 事業の実施状況

<p>(1) 小学校のパソコン機器のリース契約を継続した。 (2) 電子黒板機器の各階1台導入が未整備の小学校3校について、新たにリース契約を行った。 (3) 平成27年度電子黒板機器新規リース契約台数 醍醐小1台・白岩小1台・三泉小2台</p>

5. 事業の評価

電子黒板機器が各小学校各階1台ずつ導入されたことで情報教育の充実が図られた。

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	教職員が使用しているパソコン機器については、導入から5年以上が経過して不具合が生じてきているため、リース契約等を検討するなどして整備を図っていく。

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	情報教育推進事業(中学校)	所管課・係	学校教育課 学事係
施策体系 (教育振興計 画)	V 開かれた教育行政の推進 2 教育環境の充実・整備	予算科目	10 教育費 3 中学校費 3 教育振興費

2. 事業の概要

事業目的	情報機器やネットワーク機能の活用指導を通じて、情報化社会に対応できる人材の育成を図る。
事業内容	中学校における情報教育を円滑に行うことができるよう、パソコン機器や電子黒板の整備、充実を図る。

3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	8,332	補正額等	△99	合計	8,233	決算額	7,634
-------	-------	------	-----	----	-------	-----	-------

4. 事業の実施状況

<p>(1) 中学校のパソコン機器のリース契約を継続し、新たに1校のリース契約を更新した。 (2) 平成27年度パソコン機器更新リース契約台数 陵南中33台 (3) 電子黒板機器が導入されていない中学校2校について新たにリース契約を行ったことで、各中学校各階1台ずつ導入が達成された。 (4) 平成27年度電子黒板機器新規リース契約台数 陵東中3台・陵南中3台</p>

5. 事業の評価

電子黒板機器が各中学校各階1台ずつ導入されたことで情報教育の充実が図られた。

6. 今後の対応等

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	教職員が使用しているパソコン機器については、導入から5年以上が経過して不具合が生じてきているため、リース契約等を検討するなどして整備を図っていく。 全ての中学校で各階1台ずつの電子黒板機器が導入されたが、台数が少ないとの声が寄せられているため、生徒数の多い陵東中と陵南中に各階2台ずつを目途に電子黒板機器の導入を行う。(H28予算 9,129千円)

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	スクールバス運行事業	所管課・係	学校教育課 学事係
施策体系	V 開かれた学校づくり 2 教育環境の充実・整備	予算科目	10 教育費 1 教育総務費 3 教育指導援助費

2. 事業の概要

事業目的	遠距離通学を余儀なくされている幸生・田代地区の児童生徒の就学機会を確保する。
事業内容	スクールバスの運行業務を市内タクシー会社に委託し、幸生・田代地区の児童生徒の登下校時の送迎を行う。 また、しらいわ保育所に通所する幸生・田代地区の児童の送迎を行うとともに、小中学校の校外学習活動及び陵西中学校の部活動の交通手段にも活用する。

3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	7,097	補正額等		合計	7,097	決算額	6,529
-------	-------	------	--	----	-------	-----	-------

4. 事業の実施状況

(1) 利用者	: 陵西中学校 11名 (幸生地区 5名・田代地区 6名) 白岩小学校 9名 (田代地区 9名) しらいわ保育所 6名 (幸生地区 6名)
(2) 運行状況	: 陵西中学校・白岩小学校及びしらいわ保育所への送迎 (延べ470日) 自然の家での体験学習や公共施設の見学学習など校外活動等の利用 (延べ114日) 陵西中学校の部活動等での利用 (延べ30日)

5. 事業の評価

<p>陵西中学校の部活動終了時間に合わせた下校運行を行い、利用者が増加した。 また、各小中学校からの校外学習活動や部活動に関する利用拡大ニーズが増え、それに対して可能な限り対応するとともに、宮内・上野地区の生徒の冬期間送迎にも活用するなど効果的な運用を図った。</p>

6. 今後の対応等

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	<p>各小中学校からの校外学習活動等に関する利用の要望に可能な限り対応するとともに、事故のないよう運行業務委託業者に指導を行う。 また、平成28年度より、ふるさと学習支援事業の移動手段として活用する。(H28予算 6,817千円)</p>

寒河江市振興計画 重点プロジェクト事業

事業名	「さがえっこ育みアクションプラン」の 策定・推進		学校教育課 生涯学習課 子育て推進課
市重点プロジェクト	(1) 「さがえっこ」すくすくプロジェクト		

事業の目的	学校・家庭・地域がそれぞれの役割を果たしながら互いに連携し、生活リズムの確立や道徳心の向上、学力の向上、読書活動・食育の充実など、子どもたちの生きる力を育むための取組「さがえっこ育みアクションプラン」を、市民全体で推進する。
関係事業とその概要	(1) さがえっこ育みアクションプラン推進事業(推進本部の設置、学校支援地域本部事業の実施) ※ P32参照 (2) いのちと心を育む学校づくり支援事業(各学校における具体的取組の展開) ※ P33参照 (3) 読書の盛んな学校づくり事業(各学校の読書活動推進のための読書活動推進員の配置) ※ P25参照 (4) 社会教育活動事業(小学校を会場とした「子育て講座」の実施) ※ P20参照 (5) 学級講座開設事業(幼稚園・保育所等を会場とした「家庭教育講座」の実施) ※ P14参照 (6) 読書普及事業(「ブックスタート事業」の実施) ※ P28参照
事業の実施状況	(1) 推進本部の取組 ①年3回の会議を開催し、推進方策を検討 ②取組の指針となる「さがえっこの育み10か条」の啓発のためにリーフレットを6,500部作成し、市内の全小中学校、幼稚園・保育所を通して保護者に配布、周知・啓発 (2) 学校における取組 ①いのちと心を育む学校づくり…各小中学校で、家庭・地域と連携した特色ある取組を実施 ②読書の盛んな学校づくり…読書活動推進員5名を配置し、各学校で計画的・効果的に活用 (3) 地域の教育力向上の取組 ①学校支援地域本部…小中学校13校に「学校支援地域本部」を設置し、学校支援ボランティア活動を展開 学校支援ボランティアの総数 2,224人(25年度: 1,970人、26年度: 2,059人) ④家庭の教育力向上の取組 ①子育て講座…小中学校8校で実施 参加者: 900人 ②幼児共育ふれあい広場…保育所など7か所で実施 参加者: 357人 ③家庭教育講座…幼稚園・保育所8か所で14回実施 参加者: 1,477人 ④ブックスタート事業…3か月健診時に、本とのかかわりについて、母親を対象に実施

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
今後の対応等	推進本部による事業の啓発(新たに制定した「10か条」による啓発・周知活動)		
	「ふるさと学習支援事業」を活用したふるさと学習や豊かな心や健やかな体を育む教育活動の展開		
	読書活動推進員の配置による学校での読書活動の推進		
	学校支援地域本部 地域コーディネーターの配置の拡大		
	「子育て講座」・「家庭教育講座」の実施		
	「ブックスタート事業」の実施		
	実施5年目となる今年度も、リーフレット配布等を通して「さがえっこの育み10か条」の内容な具体的な取組を周知・啓発するとともに、今年度の重点である「あいさつ」「読書」「生活リズム・食育」の3つの項目について、市内すべての小中学校・幼稚園・保育所等で、家庭や地域と連携した取組を推進してきた。 市内全小中学生の朝食摂取率は、96.1%(27年度)と前年度よりもさらに高くなっており、取組の成果として表れている。すこやかな「さがえっこ」の育成のためには、今後も市民みんなが連携し、当たり前のことにしっかりと取り組んでいくことが大切である。子どもたちの生活の土台を安定させることで、生活全体の向上や学力の向上につなげていきたい。 この重点プロジェクトは27年度で終了となるが、28年度以降も「さがえっこ育み推進事業」として継続し、第6次市振興計画・第2次教育振興計画の内容や子どもたちを取り巻く現状を反映させた、新たな「さがえっこの育み10か条」を制定し、その周知・啓発に引き続き努めていく。また、「ふるさと学習支援事業」を活用し、ふるさとを愛する心を持ち、未来を切り拓いていくたくましい子どもたちの育成に努めていく。		

平成 2 8 年 9 月

寒河江市教育委員会

	学 校 教 育 課	生 涯 学 習 課
所 在	〒991-8601 山形県寒河江市中央一丁目 9 番 45 号	〒991-0003 山形県寒河江市大字西根字石川西 333
T E L	0237-86-2111 (代表)	0237-86-5111
F A X	0237-86-8691	0237-86-2201
Email	kyouikuka@city.sagae.yamagata.jp	shogaku@city.sagae.yamagata.jp
